

第4章 都市計画対象道路事業実施区域及びその周囲の概況（地域特性）

都市計画対象道路事業実施区域及びその周囲（以下、「調査区域」といいます。）とは、環境要素に係る環境影響を受けるおそれがある地域として、都市計画対象道路事業実施区域から概ね片側3km（本書において最も広範囲に設定する環境要素は動物、景観であり、「道路環境影響評価の技術手法（平成24年度版）」（平成25年3月、国土技術政策総合研究所・土木研究所）を参考に設定。）を含む範囲としました。

なお、統計資料等より、市単位で調査区域の概況を把握する事項については、実施区域から3kmの範囲が含まれる大分市、豊後大野市及び臼杵市の3市全域（以下、「関係市」といいます。）を対象としています。

・都市計画対象道路事業実施区域及びその周囲の概況（地域特性）は、令和7年12月時点で入手可能な最新の文献その他の資料により把握・整理しています。

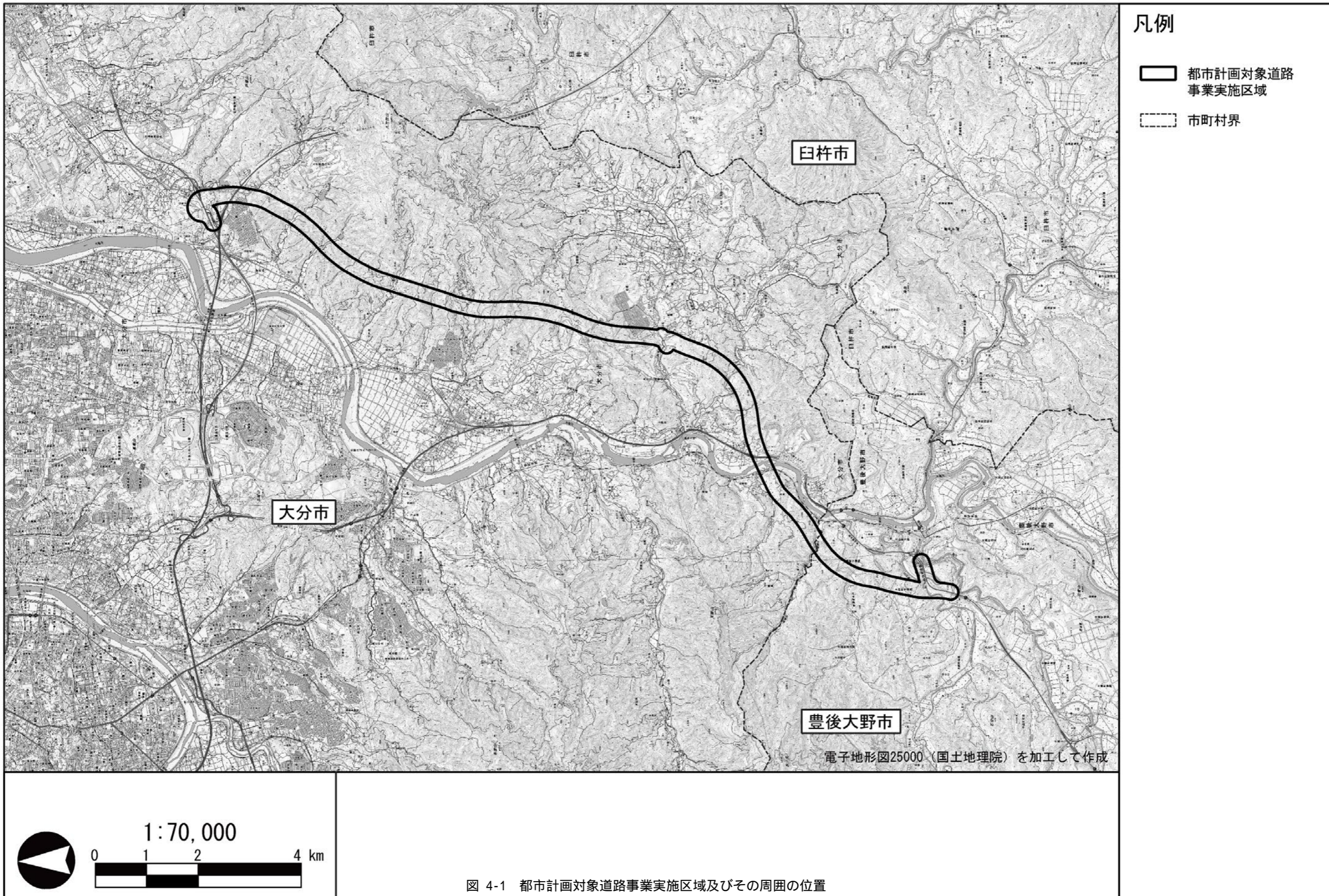


図 4-1 都市計画対象道路事業実施区域及びその周囲の位置

4.1 自然的状況

調査区域における主な自然的状況を把握した結果は、表 4.1-1 に示すとおりです。また、自然的状況の把握に用いた文献・資料は、表 4.1-2 に示すとおりです。

表 4.1-1 (1) 自然的状況

項目	調査区域の概況
1. 大気環境の状況	<p>1. 気象の状況 調査区域には、犬飼地域気象観測所があり、気温、降水量等の調査が行われている。犬飼地域気象観測所における令和6年の気象概況は、年平均気温は16.8、年降水量は1,771.0mm、年最多風向は北北東、年平均風速は1.5m/sである。</p> <p>2. 大気質の状況 調査区域には、一般環境大気測定局5局、自動車排出ガス測定局1局で調査が行われており、大分市内の2地点において降下ばいじんが測定されている。なお、実施区域に測定局及び測定地点はない。 令和6年度の測定結果について、二酸化硫黄は、測定された全5局のうち1局で環境基準を超過している。二酸化窒素は、測定された全6局で環境基準を達成している。一酸化炭素は、測定された全1局で環境基準を達成している。浮遊粒子状物質は、測定された全6局で環境基準を達成している。光化学オキシダントは、測定された全5局で環境基準を超過している。微小粒子状物質は測定された全1局で環境基準を達成している。降下ばいじんは、測定された全2地点で年平均値1.9~2.3t/km²/月であった。なお、ダイオキシン類は測定されていない。</p> <p>3. 騒音の状況 自動車騒音については、令和2年度~令和6年度において調査区域内の16地点で調査が行われており、うち12地点で環境基準を達成している。環境基準を超過した4地点は、一般国道10号の中戸次（昼間71dB）、古国府（昼間71dB）、中判田（昼間71dB・夜間67dB）、県道21号大分臼杵線の錦町（昼間72dB・夜間66dB）であり、その他の地点は昼間52~70dB、夜間46~65dBである。なお、実施区域に調査地点はない。 環境騒音については、令和6年度に調査区域内の4地点で調査が行われており、全ての調査地点で環境基準を達成している。なお、実施区域には調査地点はない。</p> <p>4. 振動の状況 調査区域では、道路交通振動について、令和2年度~令和6年度において調査区域内の15地点で調査が行われており、要請限度を超過した調査地点はない。なお、実施区域に調査地点はない。</p> <p>5. その他 調査区域では、低周波音等に係る公表資料はない。</p>
2. 水環境の状況	<p>1. 水象の状況 調査区域には、主要な河川として一級河川の大野川、大分川等、二級河川の臼杵川、末広川、丹生川等、湖沼等として屋山池、赤迫池、末広ダムがある。</p> <p>2. 水質その他の水に係る環境の状況 調査区域では、生活環境項目については、令和6年度に16地点で調査が行われており、DO（溶存酸素量）、BOD（生物化学的酸素要求量）、SS（浮遊物質質量）については全ての調査地点で環境基準を達成している。 pH（水素イオン濃度）は、2地点で環境基準を超過している。 大腸菌数は、調査が行われた13地点のうち5地点で環境基準を超過している。 生活環境項目（水生生物の保全に係る項目）については、令和6年度に9地点で調査が行われており、全ての調査地点で環境基準を達成している。 健康項目については、令和6年度に8地点で調査が行われており、全ての調査地点で環境基準を達成している。 ダイオキシン類については、令和5年度~令和6年度に5地点で調査が行われており、全ての調査地点で環境基準を達成している。</p> <p>3. 水底の底質の状況 河川の底質におけるダイオキシン類については、令和4年度~令和6年度に5地点で調査が行われており、全ての調査地点で環境基準を達成している。</p>

表 4.1-1 (2) 自然的状況

項目	調査区域の概況
2. 水環境の状況	<p>4. 地下水の水質の状況 調査区域では、地下水の概況調査が令和4年度に3地点、令和5年度に4地点、令和6年度に3地点で実施されており、全ての地点で環境基準を達成している。 また、汚染地域について継続的な監視、経年的なモニタリングとして実施する水質についての継続監視調査が令和6年度に8地点で行われており、クロロエチレン（塩化ビニルモノマー）、1,1-ジクロロエチレン、1,2-ジクロロエチレン、トリクロロエチレン、ふっ素については全ての調査地点で環境基準を達成している。硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素は、2地点で環境基準を超過している。 地下水のダイオキシン類については、令和4年度～令和6年度に7地点で調査が行われており、全ての調査地点で環境基準を達成している。</p> <p>5. その他の水に係る環境の状況 調査区域には、主な源泉として金池温泉、大分温泉等がある。</p>
3. 土壌及び地盤の状況	<p>1. 土壌の状況 調査区域では、山地・丘陵地において乾性褐色森林土壌、乾性褐色森林土壌（黄褐色系）、褐色森林土壌、黄色土壌、黒ボク土壌、淡色黒ボク土壌、厚層黒ボク土壌等が分布しており、低地部において灰色低地土壌、細粒灰色低地土壌、粗粒灰色低地土壌、乾性褐色森林土壌、黒ボク土壌、多湿黒ボク土壌、細粒グライ土壌等が分布している。 調査区域では、土壌のダイオキシン類についての調査が令和4年度～令和6年度に4地点において行われており、全ての調査地点で環境基準を達成している。 調査区域には、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」により指定された区域（廃棄物が地下にある土地の区域）が18箇所ある。なお、調査区域には、「土壌汚染対策法」に基づく指定区域、「ダイオキシン類対策特別措置法」により指定されたダイオキシン類土壌汚染対策地、「底質の処理・処分等に関する指針」に基づき処理されたPCB盛立地及び「農用地の土壌の汚染防止等に関する法律」に基づき指定された農用地土壌汚染対策地域はない。</p> <p>2. 地盤の状況 「令和5年度全国の地盤沈下地域の概況」によると、調査区域では、これまでに地盤沈下が観測された地域はない。また、大分市、豊後大野市及び臼杵市では、「建築物用地下水の採取の規制に関する法律」、「工業用水法」による地下水の制限地域はない。</p> <p>3. 地下水の水位の状況 調査区域では、国土庁（現、国土交通省）による全国地下水井戸資料台帳調査により地下水を利用するための揚水施設である深井戸の状況が把握されている。調査区域における深井戸の深度は、30m～150m程度である。なお、調査区域では、地域全体での地下水の分布状況の調査、並びに地下水位の経年変化に係る調査は実施されていない。</p>
4. 地形及び地質の状況	<p>1. 地形の状況 調査区域には、山地・丘陵地において、主に中起伏山地、小起伏山地等が分布している。台地においては、主に砂礫台地・段丘等が分布している。低地においては、主に氾濫原や扇状地等が分布している。また、「大分地域の地質 地域地質研究報告」によると、調査区域の地質系統は大きく区分して、白亜紀の低温高压型変成岩である三波川変成岩類、上部白亜系堆積岩類の大野川層群、及び第四紀（一部は新第三紀末）の火山岩・堆積岩類からなる。</p> <p>2. 地質の状況 調査区域には、山地・丘陵地において、主に泥質片岩、砂岩・頁岩及び礫岩等が分布している。台地において、主に非溶結のガラス火山灰及び軽石、溶結凝灰岩等が分布している。低地において、主に軽石質砂・泥及び礫、礫・砂及び泥等が分布している。</p> <p>3. 活断層の状況 調査区域には、佐賀関断層、福良木断層が存在する。</p> <p>4. 重要な地形及び地質の状況 調査区域には、「第1回自然環境保全基礎調査 1/20万すぐれた自然図 大分県」に記載されている丹生台地の段丘面、「日本の地形レッドデータブック 第1集 - 危機にある地形 - 」に記載されている大野川河口干潟が分布している。</p>

表 4.1-1 (3) 自然的状況

項目	調査区域の概況
5. 動植物の生息又は生育、植生及び生態系の状況	<p>1. 動物の生息状況、重要な種及び注目すべき生息地の状況 調査区域には、重要な動物として、カヤネズミ、ヤマドリ、ニホンイシガメ、オオイタサンショウウオ、ニホンウナギ、オオムラサキ、マシジミ等の生息が記録されている。</p> <p>2. 植物の生育の状況、重要な種及び群落の状況 調査区域は、北側から平地、山地が連続しており、山地では主に常緑針葉樹林、落葉広葉樹林、常緑広葉樹林が広く分布している。平地では耕作地や市街地が広く分布し、開放水面が点在している。水域としては、大野川、大分川、乙津川等の河川が流れており、河川周辺にはヨシクラス等の湿原植生がみられる。 調査区域には、重要な植物種として、サンカクイ、ミヤマコナスビ等の生育が記録されているほか、大分市指定天然記念物の八幡神社のクスノキや、巨樹・巨木林、保護樹木・保護樹林、重要な植物群落として河岸断がいのアラカシ林等が分布する。</p> <p>3. 生態系の状況 調査区域には山地、丘陵地、台地・低地、開放水域（淡水域）が広く分布している。 調査区域の生態系は、山地の樹林地、丘陵地の樹林地・耕作地、台地・低地の耕作地、水域の生態系に大きく区分されると考えられ（地域を特徴づける生態系）その基盤の特性に応じた種・群集で該当の生態系が構成されている。 山地の樹林地を中心とする生態系では、シイ・カシ二次林等の樹林や畑雑草群落等の草地・耕作地があり、これらの基盤を利用する動物として、低次消費者としてオオオサムシ、ミンミンゼミ等の昆虫類・クモ類、それらを食するアカネズミ、アオバト等の小型哺乳類・鳥類、ニホントカゲ等の爬虫類、高次消費者としてキツネ、クマタカ等の中型の哺乳類・鳥類が生息している。丘陵地の樹林・耕作地を中心とする生態系では、コナラ群落等の樹林や水田雑草群落、畑雑草群落等の草地・耕作地があり、これらの基盤を利用する動物として、低次消費者としてタマムシ、ヒグラシ等の昆虫類・クモ類、それらを食するアカネズミ、ヒヨドリ等の小型哺乳類・鳥類、ニホントカゲ等の爬虫類、高次消費者としてキツネ、サシバ、フクロウ等の中型の哺乳類・鳥類が生息している。台地・低地の耕作地を中心とする生態系では、スギ・ヒノキ・サワラ植林等の樹林や水田雑草群落、畑雑草群落等の草地・耕作地があり、これらの基盤を利用する動物として、低次消費者としてヒグラシ、ショウリョウバッタ等の昆虫類・クモ類、それらを食するアカネズミ、ヒヨドリ等の小型哺乳類・鳥類、ニホントカゲ等の爬虫類、高次消費者としてキツネ、サシバ、フクロウ等の中型の哺乳類・鳥類が生息している。水域を中心とする生態系では、河川上下流域等の開放水域があり、生産者としてヨシクラス等が生育している。これらの基盤を利用する動物として、低次消費者としてモツゴ、ゲンジボタル、マルタニシ等の魚類・昆虫類・クモ類・底生動物、それらを食するカモ類、ギンズナ等の鳥類・魚類、高次消費者としてイタチ属、ミサゴ、サギ類等の中型の哺乳類・鳥類が生息している。</p>
6. 景観及び人と自然との触れ合いの活動の場の状況	<p>1. 景観の状況 調査区域には、景観資源として高尾山自然公園、吉野梅園等の 24 箇所が分布する。また、主要な眺望点として鶴賀城跡、長曾我部信親墓等の 13 箇所が分布する。</p> <p>2. 人と自然との触れ合いの活動の場の状況 調査区域には、主要な人と自然との触れ合いの活動の場として高尾山自然公園やリバーパーク犬飼等の 14 箇所が分布する。</p>
7. 一般環境中の放射性物質の状況	<p>1. 一般環境中の放射性物質の状況 調査区域には、モニタリングポストが 1 箇所あり、令和 6 年度の空間放射線量率（年間平均値）の測定値は 0.048 μSv/h であり、自然放射線のレベルとなっている。</p>
8. 文化財の状況	<p>1. 文化財の状況 調査区域には、「文化財保護法」、「大分県文化財保護条例」、「大分市文化財保護条例」、「豊後大野市文化財保護条例」及び「臼杵市文化財保護条例」により指定された有形文化財が 122 件、民俗文化財が 13 件、記念物（史跡、名勝、天然記念物を含む）が 28 件ある。なお、調査区域には無形文化財、文化的景観（重要文化的景観を含む）、伝統的建造物群はない。また、周知の埋蔵文化財包蔵地が 386 件ある。</p>

表 4.1-2 (1) 自然的状況の把握に用いた文献・資料

項目	No.	資料名	発行年月 ()はHP確認年月	発行元	
1 大気環境の状況	1. 気象	1	気象庁HP / 過去の気象データ検索	(令和7年12月)	気象庁
		2	大分地方気象台HP / 大分県内の気象観測所	(令和7年12月)	気象庁
	2. 大気質	3	令和5年度 大気環境調査報告書	令和7年3月	大分県
		4	大分市HP / 令和7年版 環境白書(資料編)	令和7年10月	大分市
		5	環境省大気汚染物質広域監視システム(そらまめくん) HP / 測定局一覧	(令和7年12月)	環境省
		6	大分市HP / 令和3年版 環境白書(資料編)	令和3年10月	大分市
		7	大分市HP / 令和4年版 環境白書(資料編)	令和4年10月	大分市
		8	大分市HP / 令和5年版 環境白書(資料編)	令和5年10月	大分市
		9	大分市HP / 令和6年版 環境白書(資料編)	令和6年10月	大分市
		10	国立環境研究所HP / 大気汚染状況の常時監視結果データの説明(環境基準について)	(令和7年12月)	国立研究開発法人 国立環境研究所
		11	大分県大気環境情報HP / 測定局紹介	(令和7年12月)	大分県生活環境部 環境保全課
	3. 騒音	12	大分県HP / 令和2年版 環境白書(資料編)	(令和7年12月)	大分県
		13	大分県HP / 令和3年版 環境白書(資料編)	(令和7年12月)	大分県
		14	大分県HP / 令和4年版 環境白書(資料編)	(令和7年12月)	大分県
		15	大分県HP / 令和5年版 環境白書(資料編)	(令和7年12月)	大分県
		16	大分県HP / 令和6年版 環境白書(資料編)	(令和7年12月)	大分県
再掲		大分市HP / 令和7年版 環境白書(資料編)	令和7年10月	大分市	
4. 振動	再掲	大分市HP / 令和6年版 環境白書(資料編)	令和6年10月	大分市	
	再掲	大分市HP / 令和7年版 環境白書(資料編)	令和7年10月	大分市	
2 水環境の状況	1. 水象	1	大分県HP / 令和6年版 大分県統計年鑑	(令和7年12月)	大分県
		2	大分県HP / 令和7年度 事業概要書	(令和7年12月)	大分土木事務所
		3	大分県HP / 令和7年度 事業概要書	(令和7年12月)	臼杵土木事務所
		4	大分県HP / 令和7年度 事業概要書	(令和7年12月)	豊後大野土木事務所
		5	国土交通省HP / 国土数値情報(河川データ)	(令和7年12月)	国土交通省
		6	大分県河川管内図	令和6年12月	大分県土木建築部河川課
		7	国土交通省HP / 地理院地図(電子国土Web)	(令和7年12月)	国土交通省
	2. 水質その他の水に係る環境	8	大分県HP / 令和4年度 公共用水域及び地下水の水質測定結果報告書	(令和7年12月)	大分県生活環境部環境保全課
		9	大分県HP / 令和5年度 公共用水域及び地下水の水質測定結果報告書	(令和7年12月)	大分県生活環境部環境保全課
		10	大分県HP / 令和6年度 公共用水域及び地下水の水質測定結果報告書	(令和7年12月)	大分県生活環境部環境保全課
		11	大分県HP / 令和6年度 公共用水域及び地下水の水質測定結果報告書 水質測定結果総括表(公共用水域)	(令和7年12月)	大分県生活環境部環境保全課
		12	令和6年度 公共用水域及び地下水の水質測定計画	令和6年3月	大分県生活環境部環境保全課
		13	環境省HP / 水環境総合情報サイト(水質測定点データ)	(令和7年12月)	環境省 水・大気環境局 水環境課
	3. 水底の底質	再掲	大分県HP / 令和4年度 公共用水域及び地下水の水質測定結果報告書	(令和7年12月)	大分県生活環境部環境保全課
		再掲	大分県HP / 令和5年度 公共用水域及び地下水の水質測定結果報告書	(令和7年12月)	大分県生活環境部環境保全課
		再掲	大分県HP / 令和6年度 公共用水域及び地下水の水質測定結果報告書	(令和7年12月)	大分県生活環境部環境保全課
再掲		令和6年度 公共用水域及び地下水の水質測定計画	令和6年3月	大分県生活環境部環境保全課	
再掲		環境省HP / 水環境総合情報サイト(水質測定点データ)	(令和7年12月)	環境省 水・大気環境局 水環境課	
4. 地下水の水質	再掲	大分県HP / 令和4年度 公共用水域及び地下水の水質測定結果報告書	(令和7年12月)	大分県生活環境部環境保全課	
	再掲	大分県HP / 令和5年度 公共用水域及び地下水の水質測定結果報告書	(令和7年12月)	大分県生活環境部環境保全課	
	再掲	大分県HP / 令和6年度 公共用水域及び地下水の水質測定結果報告書	(令和7年12月)	大分県生活環境部環境保全課	
	14	大分県HP / 令和4年度 公共用水域及び地下水の水質測定結果報告書 水質測定結果総括表(地下水)	(令和7年12月)	大分県生活環境部環境保全課	
	15	大分県HP / 令和5年度 公共用水域及び地下水の水質測定結果報告書 水質測定結果総括表(地下水)	(令和7年12月)	大分県生活環境部環境保全課	
	16	大分県HP / 令和6年度 公共用水域及び地下水の水質測定結果報告書 水質測定結果総括表(地下水)	(令和7年12月)	大分県生活環境部環境保全課	

表 4.1-2 (2) 自然的状況の把握に用いた文献・資料

項目	No.	資料名	発行年月 ()はHP確認年月	発行元	
2 水環境の状況	5. その他の水に係る環境	17	大分県HP / 大分県鉱泉誌 2020	(令和7年12月)	大分県生活環境部自然保護推進室
		18	大分県温泉調査報告 温泉分析書 第72号	令和3年8月	大分県生活環境部自然保護推進室
		19	大分県温泉調査報告 温泉分析書 第73号	令和4年8月	大分県生活環境部自然保護推進室
		20	大分県温泉調査報告 温泉分析書 第74号	令和5年8月	大分県生活環境部自然保護推進室
		21	大分県温泉調査報告 温泉分析書 第75号	令和6年8月	大分県生活環境部自然保護推進室
		22	大分県温泉調査報告 温泉分析書 第76号	令和7年8月	大分県生活環境部自然保護推進室
3 土壌及び地盤の状況	1. 土壌	1	令和4年度 大気環境、水環境、ダイオキシン類、自動車騒音及び環境放射能水準調査結果	令和5年11月	大分県
		2	令和5年度 大気環境、水環境、ダイオキシン類、自動車騒音及び環境放射能水準調査結果	令和7年2月	大分県
		3	令和6年度 大気環境、水環境、ダイオキシン類、自動車騒音及び環境放射能水準調査結果	令和7年9月	大分県
		4	5万分の1 土地分類基本調査(土壌図)「大分・佐賀関」	昭和54年3月	国土交通省
		5	5万分の1 土地分類基本調査(土壌図)「犬飼」	昭和50年3月	国土交通省
		6	大分県HP / 廃止した廃棄物最終処分場の指定区域の指定について	(令和7年12月)	大分県循環社会推進課
		7	大分市HP / 地下に廃棄物がある区域の指定について	(令和7年12月)	大分市環境部廃棄物対策課
	2. 地盤	8	令和5年度全国の地盤沈下地域の概況	令和7年3月	環境省 水・大気環境局
		9	環境省HP / 大分県大分平野 地盤環境情報 令和5年度	(令和7年12月)	環境省
	3. 地下水の水位	10	全国地下水(深井戸)資料台帳(九州編)	昭和57年3月	国土庁土地局国土調査課
4 地形及び地質の状況	1. 地形	1	5万分の1 土地分類基本調査(地形分類図)「大分・佐賀関」	昭和54年3月	国土交通省
		2	5万分の1 土地分類基本調査(地形分類図)「犬飼」	昭和50年3月	国土交通省
	2. 地質	3	大分地域の地質 地域地質研究報告(5万分の1地質図幅)	平成9年	地質研究所
		4	5万分の1地質図幅「大分」	平成9年3月	産業技術総合研究所地質調査総合センター
		5	5万分の1地質図幅「犬飼」	平成4年3月	産業技術総合研究所地質調査総合センター
	3. 活断層	6	地質調査総合センターHP / 活断層データベース	(令和7年12月)	産業技術総合研究所地質調査総合センター
	4. 重要な地形及び地質	7	第1回自然環境保全基礎調査 1/20万すぐれた自然図 大分県	昭和51年	環境庁
		8	日本の地形レッドデータブック 第1集 - 危機にある地形 -	平成12年12月	古今書院
5 動植物の生息又は生育、植生及び生態系の状況	1. 動物	1	第1回自然環境保全基礎調査 1/20万すぐれた自然図 大分県	昭和51年	環境庁
		2	第2回自然環境保全基礎調査 動物分布調査	昭和56年3月	環境庁
		3	第2回自然環境保全基礎調査 河川調査	昭和56年3月	環境庁
		4	第2回自然環境保全基礎調査 大分県動植物分布図	昭和56年	環境庁
		5	第3回自然環境保全基礎調査 河川調査	昭和62年3月	環境庁
		6	第3回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査	昭和63年	環境庁
		7	第4回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査	平成5年3月	環境庁自然保護局
		8	第5回自然環境保全基礎調査 動物分布調査	平成13年10月～平成14年3月	環境省自然環境局生物多様性センター
		9	第6回自然環境保全基礎調査 種の多様性調査	平成16年3月	環境省自然環境局生物多様性センター
		10	モニタリングサイト1000	(令和7年12月)	環境省自然環境局生物多様性センター
		11	河川水辺の国勢調査 河川環境データベース	(令和7年12月)	国土交通省
		12	レッドデータブックおおいた2011	平成23年	大分県
		13	レッドデータブックおおいた2022	令和4年3月	大分県
		14	オオイタサンショウウオ分布調査報告書	平成9年1月	大分県
		15	大分市自然環境調査報告書	平成19年2月	大分市
		16	大分市自然環境調査報告書 2016年版	平成29年3月	大分市

表 4.1-2 (3) 自然的状況の把握に用いた文献・資料

項目	No.	資料名	発行年月 ()はHP確認年月	発行元	
5 動植物の 生息又は 生育、 植生及び 生態系の 状況	1. 動物	17	大分市環境基本計画（第四次）	令和7年3月	大分市
	18	生物多様性ぶんごおおの戦略	平成29年6月	豊後大野市	
	19	大分自然博物誌 プンゴエンシス 第2巻	平成29年4月	大分自然環境研究発表会	
	20	大分の野鳥300 大分県野鳥ガイドブック	平成27年4月	日本野鳥の会大分県支部	
	21	FIELD WORKER 2013	平成25年	希少生物研究会	
	22	大分生物談話会会誌 第6号 大分市中部地域の自然	平成10年3月	大分生物談話会	
	23	大分生物談話会会誌 第7号 大分市東部地域の自然	平成14年6月	大分生物談話会	
	24	大分生物談話会会誌 第12号 大野川流域の自然と人とのかかわり	令和2年5月	大分生物談話会	
	25	大分県のトンボ	平成19年10月	九州トンボ談話会	
	26	大分県のカミキリムシ	平成21年11月	昆虫文献 六本脚	
	27	大分県陸産貝類誌	平成4年3月	神田正人	
	28	豊後大野市の自然 第2回会誌 合同調査報告書	令和2年12月	豊後大野市自然史友の会	
	29	豊後大野市自然図鑑	平成25年3月	豊後大野市自然史友の会	
	30	環境省HP / 生物多様性の観点から重要度の高い湿地	(令和7年12月)	環境省自然環境局自然環境計画課	
	31	平成26年度大分川・大野川水辺現地調査（魚類植物等）業務 報告書	平成27年3月	国土交通省 九州地方整備局 大分河川国道事務所	
	32	平成30年度大分川・大野川水辺現地調査（鳥類・両生類外2類）業務 報告書	平成31年3月	国土交通省 九州地方整備局 大分河川国道事務所	
	33	平成31年度大野川水辺現地調査（魚類調査等）業務 報告書	令和2年2月	国土交通省 九州地方整備局 大分河川国道事務所	
	34	令和2年度大分川・大野川水辺現地調査（底生動物等）業務 報告書	令和3年2月	国土交通省 九州地方整備局 大分河川国道事務所	
	35	令和4年度大分川・大野川水辺現地調査（鳥類・底生動物等）業務 報告書	令和5年3月	国土交通省 九州地方整備局 大分河川国道事務所	
	36	環境省HP / 生物多様性保全上重要な里地里山	(令和7年12月)	環境省自然環境局自然環境計画課	
	37	自然環境情報図(第4回自然環境保全基礎調査)【鳥類の集団繁殖地及び集団ねぐら】	平成7年	環境庁	
	38	シギ・チドリ類渡来湿地目録	平成9年9月	環境庁	
	39	日本野鳥の会HP / 重要野鳥生息地（IBA）の保護指定状況	(令和7年12月)	日本野鳥の会	
	2. 植物	再掲	第1回自然環境保全基礎調査 1/20万すぐれた自然図大分県	昭和51年	環境庁
	40	第2回自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査	昭和56年	環境庁	
	41	第4回自然環境保全基礎調査 巨樹・巨木林調査	平成3年	環境庁、大蔵省印刷局	
	42	第6回自然環境保全基礎調査 巨樹・巨木林フォローアップ調査	平成13年3月	環境省自然環境局生物多様性センター	
	43	第6-7回自然環境保全基礎調査 植生調査	(令和7年12月)	環境省自然環境局生物多様性センター	
	44	絶滅危惧種分布情報公開ページ	(令和7年12月)	環境省	
	再掲	河川水辺の国勢調査 河川環境データベース	(令和7年12月)	国土交通省	
	再掲	レッドデータブックおおいた2022	令和4年3月	大分県	
	45	大分市HP / 大分市の文化財	(令和7年12月)	大分市	
	46	豊後大野市HP / 市内文化財一覧	(令和7年12月)	豊後大野市	
	47	臼杵市HP / 臼杵市所在指定文化財一覧	(令和7年12月)	臼杵市	
	48	大分県HP / 特別保護樹木一覧（H31.4.12更新）	(令和7年12月)	大分県	
	49	大分県HP / 特別保護樹林一覧	(令和7年12月)	大分県	
	50	大分市HP / 大分市指定名木一覧表	(令和7年12月)	大分市	
	再掲	大分市自然環境調査報告書	平成19年2月	大分市	
	再掲	大分市自然環境調査報告書 2016年版	平成29年3月	大分市	
再掲	生物多様性ぶんごおおの戦略	平成29年6月	豊後大野市		

表 4.1-2 (4) 自然的状況の把握に用いた文献・資料

項目	No.	資料名	発行年月 ()はHP確認年月	発行元		
5 動植物の生息又は生育、植生及び生態系の状況	2. 植物	再掲	大分自然博物誌 プンゴエンシス 第2巻	平成29年4月	大分自然環境研究発表会	
		再掲	豊後大野市の自然 第2回会誌 合同調査報告書	令和2年12月	豊後大野市自然史友の会	
		再掲	豊後大野市自然図鑑	平成25年3月	豊後大野市自然史友の会	
		再掲	平成26年度大分川・大野川水辺現地調査(魚類植物等)業務 報告書	平成27年3月	国土交通省 九州地方整備局 大分河川国道事務所	
		再掲	平成30年度大分川・大野川水辺現地調査(鳥類・両生類外2類)業務 報告書	平成31年3月	国土交通省 九州地方整備局 大分河川国道事務所	
		再掲	平成31年度大野川水辺現地調査(魚類調査等)業務 報告書	令和2年2月	国土交通省 九州地方整備局 大分河川国道事務所	
		再掲	令和2年度大分川・大野川水辺現地調査(底生動物等)業務 報告書	令和3年2月	国土交通省 九州地方整備局 大分河川国道事務所	
		再掲	令和4年度大分川・大野川水辺現地調査(鳥類・底生動物等)業務 報告書	令和5年3月	国土交通省 九州地方整備局 大分河川国道事務所	
		51	APG 分類体系による 大分の維管束植物標本資料一覧	平成28年12月	(財)日本自然保護協会	
		52	新版 大分県植物誌	平成元年8月	大分市植物誌刊行会	
3. 生態系	再掲	第6-7回自然環境保全基礎調査 植生調査	(令和7年12月)	環境省自然環境局生物多様性センター		
	再掲	5万分の1 土地分類基本調査(地形分類図)「大分・佐賀関」	昭和54年3月	国土交通省		
	再掲	5万分の1 土地分類基本調査(地形分類図)「犬飼」	昭和50年3月	国土交通省		
6 景観及び人と自然との触れ合いの活動の場の状況	1. 景観	1	第3回自然環境保全基礎調査 大分県自然環境情報図	平成元年	環境庁	
		2	大分県観光情報公式サイトHP / 観光スポット	(令和7年12月)	公益社団法人 ツーリズムおおいた、大分県商工観光労働部観光局観光誘致促進室	
		3	おおいた市観光ナビ / 観光スポット	(令和7年12月)	一般社団法人 大分市観光協会	
		4	判田地区史跡・景観MAP	平成26年3月	大分市市民協働推進課(作成:判田校区健康といやしの里づくり実行委員会)	
		5	竹中地区史跡・景観図	平成27年	大分市市民協働推進課(作成:竹中校区健康といやしの里づくり実行委員会)	
		6	戸次地区史跡・景観図	令和3年	大分市市民協働推進課(作成:戸次校区健康といやしの里づくり実行委員会)	
		7	吉野地区史跡・景観図	平成23年	大分市市民協働推進課(作成:吉野校区健康といやしの里づくり実行委員会)	
		8	豊後大野市観光協会HP / 見る	(令和7年12月)	一般社団法人 豊後大野市観光協会	
		9	豊後大野おでかけマップ	(令和7年12月)	一般社団法人 ぶんご大野里の旅公社、豊後大野市商工観光課	
		10	臼杵市観光協会HP / 観る	(令和7年12月)	一般社団法人 臼杵市観光協会	
		11	臼杵市HP / うすきで充電中 臼杵市観光パンフレット	(令和7年12月)	臼杵市	
		12	臼杵市HP / 絵地図 臼杵みである記	(令和7年12月)	臼杵市	
		13	大分市景観計画	令和2年6月	大分市	
		14	豊後大野市景観計画	令和元年8月	豊後大野市	
		15	臼杵市景観計画(全体構想編)	平成20年12月	臼杵市	
	2. 人と自然との触れ合いの活動の場	再掲	大分県観光情報公式サイトHP / 観光スポット	(令和7年12月)	公益社団法人 ツーリズムおおいた、大分県商工観光労働部観光局観光誘致促進室	
		再掲	おおいた市観光ナビ / 観光スポット	(令和7年12月)	一般社団法人 大分市観光協会	
		16	大分市HP / 河原内川河川プールの利用について	(令和7年12月)	大分市	
		再掲	豊後大野市観光協会HP / 見る	(令和7年12月)	一般社団法人 豊後大野市観光協会	
		再掲	豊後大野おでかけマップ	(令和7年12月)	一般社団法人 ぶんご大野里の旅公社、豊後大野市商工観光課	
		再掲	臼杵市観光協会HP / 観る	(令和7年12月)	一般社団法人 臼杵市観光協会	
		再掲	臼杵市HP / うすきで充電中 臼杵市観光パンフレット	(令和7年12月)	臼杵市	
		再掲	臼杵市HP / 絵地図 臼杵みである記	(令和7年12月)	臼杵市	
		7 一般環境中の放射線物質	再掲	令和6年度 大気環境、水環境、ダイオキシン類、自動車騒音及び環境放射能水準調査結果	令和7年9月	大分県
			1	原子力規制委員会HP / 放射線モニタリング情報共有・公表システム	(令和7年12月)	原子力規制委員会

表 4.1-2 (5) 自然的状況の把握に用いた文献・資料

項目	No.	資料名	発行年月 ()はHP確認年月	発行元	
8 文化財の 状況	1.有形文化財	1	文化庁 / 国指定文化財等データベース	(令和7年12月)	文化庁
		2	大分県HP / 県内の国・県指定文化財	(令和7年12月)	大分県
		再掲	大分市HP / 大分市の文化財	(令和7年12月)	大分市
		再掲	豊後大野市HP / 市内文化財一覧	(令和7年12月)	豊後大野市
		再掲	臼杵市HP / 臼杵市所在指定文化財一覧	(令和7年12月)	臼杵市
		3	大分県遺跡地図	平成30年3月	大分県教育委員会
	2.無形文化財	再掲	大分市HP / 大分市の文化財	(令和7年12月)	大分市
	3.民俗文化財	再掲	大分市HP / 大分市の文化財	(令和7年12月)	大分市
		再掲	豊後大野市HP / 市内文化財一覧	(令和7年12月)	豊後大野市
		再掲	臼杵市HP / 臼杵市所在指定文化財一覧	(令和7年12月)	臼杵市
		再掲	大分県遺跡地図	平成30年3月	大分県教育委員会
	4.記念物(史 跡、名勝、天 然記念物を 含む)	再掲	文化庁 / 国指定文化財等データベース	(令和7年12月)	文化庁
		再掲	大分県HP / 県内の国・県指定文化財	(令和7年12月)	大分県
		再掲	大分市HP / 大分市の文化財	(令和7年12月)	大分市
		再掲	豊後大野市HP / 市内文化財一覧	(令和7年12月)	豊後大野市
		再掲	臼杵市HP / 臼杵市所在指定文化財一覧	(令和7年12月)	臼杵市
		再掲	大分県遺跡地図	平成30年3月	大分県教育委員会
	7.埋蔵文化財 包蔵地	再掲	大分県遺跡地図	平成30年3月	大分県教育委員会

4.1.1 大気環境の状況

1) 気象の状況

調査区域では、気温、降水量等の調査が犬飼地域気象観測所において行われています。犬飼地域気象観測所における過去 10 年間の気象概況は表 4.1.1-1 に、位置は図 4.1.1-1 に示すとおりです。

表 4.1.1-1 過去 10 年間の気象概況（犬飼地域気象観測所）

年	年平均気温()	年間降水量(mm)	年最多風向	年平均風速(m/s)
平成 27 年	15.5	1,821.0	北)	1.3
平成 28 年	16.3	2,053.5	北北東)	1.4
平成 29 年	15.3	2,062.0	北北東)	1.5
平成 30 年	15.5	1,781.0	北北東)	1.4
平成 31 年(令和元年)	15.9	1,771.5	北北東)	1.3
令和 2 年	15.9	1,615.5	北北東)	1.4
令和 3 年	15.8	1,402.5	北北東)	1.5
令和 4 年	15.7	1,390.5	北北東)	1.5
令和 5 年	16.0	1,516.5	北北東)	1.5
令和 6 年	16.8	1,771.0	北北東)	1.5
平均	15.9	1,718.5	-	1.4

注)「)」は統計を行う対象資料が許容範囲で欠けているが、上位の統計を用いる際は一部の例外を除いて正常値(資料が欠けていない)と同等に扱うもの(準正常値)。

出典:「気象庁 HP / 過去の気象データ検索」(令和 7 年 12 月現在、気象庁)

(1) 気温及び降水量

犬飼地域気象観測所における令和 6 年の降水量・平均気温観測結果は表 4.1.1-2 に示すとおりです。年平均気温は 16.8 、年間降水量は 1,771.0mm となっています。

表 4.1.1-2 令和 6 年の降水量・平均気温観測結果（犬飼地域気象観測所）

項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均(気温) 合計(降水量)
平均気温 ()	5.8	7.8	9.8	16.2	18.5	22.0	28.3	28.5	26.0	19.6	13.2	6.2	16.8
降水量 (mm)	18.0	160.5	157.5	147.5	151.0	227.0	142.0	418.5	134.5	146.5	68.0	0.0	1,771.0

出典:「気象庁 HP / 過去の気象データ検索」(令和 7 年 12 月現在、気象庁)

(2) 風向及び風速

犬飼観測所における令和 6 年の風向・風速観測結果は表 4.1.1-3 に示すとおりです。年最多風向は北北東、年平均風速は 1.5m/s となっています。

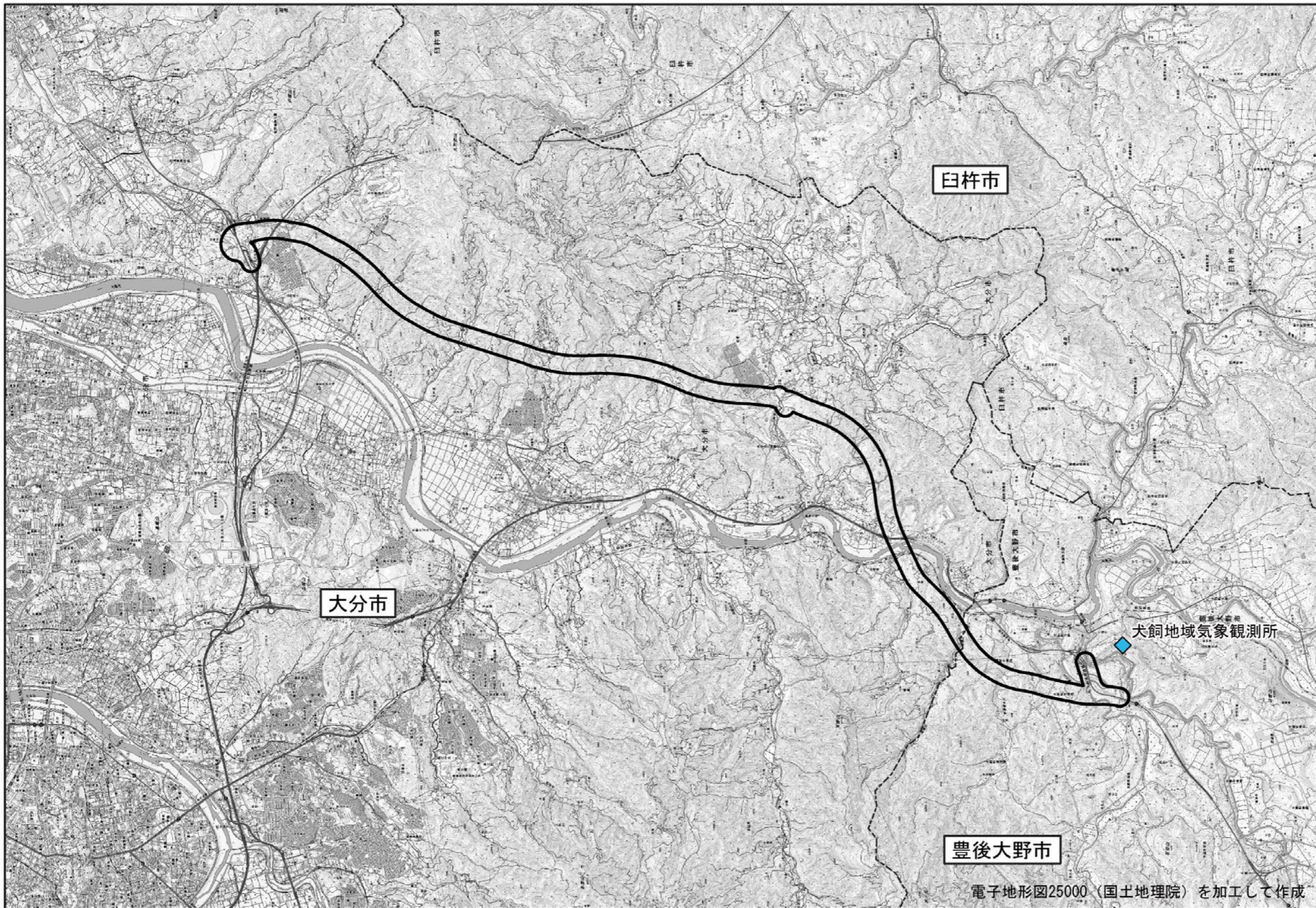
表 4.1.1-3 令和 6 年の風向・風速観測結果（犬飼地域気象観測所）

平均 風速 (m/s)	出現回数																
	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	静穏
1.5	1,154	309	226	296	261	310	666	930	830	727	737	386	213	194	531	928	83
	13.1	3.5	2.6	3.4	3.0	3.5	7.6	10.6	9.5	8.3	8.4	4.4	2.4	2.2	6.0	10.6	0.9




注) 上段は出現回数(回)、下段は出現頻度(%)を示す。

注) 静穏: 平均風速が 0.2m/s 以下の場合を示す。

出典:「気象庁 HP / 過去の気象データ検索」(令和 7 年 12 月現在、気象庁)



凡例

-  都市計画対象道路
事業実施区域
-  市町村界
-  気象観測所

電子地形図25000（国土地理院）を加工して作成

出典：「大分地方気象台 HP / 大分県内の気象観測所」(令和7年12月現在、気象庁)



図 4.1.1-1 気象観測所位置図

2)大気質の状況

調査区域では、一般環境大気測定局 5 局、自動車排出ガス測定局 1 局で大気質の調査が行われています。また、大分市内の 2 地点で降下ばいじんが測定されています。測定項目は表 4.1.1-4 に、調査地点位置は図 4.1.1-2 に示すとおりです。

表 4.1.1-4 大気汚染常時監視測定局の測定項目（令和 2 年～令和 6 年）

区分	番号	測定局名	所在地	測定項目							
				二酸化硫黄(SO ₂)	二酸化窒素(NO ₂)	一酸化炭素(CO)	浮遊粒子状物質(SPM)	光化学オキシダント(O ₃)	微小粒子状物質(PM _{2.5})	ダイオキシン類	降下ばいじん
一般環境大気測定局	1	南大分中学校	大分市二又町 1-4-53								
	2	大東中学校	大分市横尾東町 1-23-1								
	3	敷戸小学校	大分市敷戸北町 12-1								
	4	丹生小学校	大分市大字佐野 2662								
	5	戸次中学校	大分市大字中戸次 4508-1								
自動車排出ガス測定局	6	宮崎測定局	大分市大字宮崎字スカワ 783-3								
降下ばいじん測定地点	7	明野北小学校	大分市明野北 4-10-1								
	8	古国府浄水場	大分市花園 3-4-1								
		森岡小学校	大分市大字曲 1041-2								

注) 表中の番号は図 4.1.1-2 に対応

) 地点番号 8 に関して、2020(R2)年 9 月分から 2021 年(R3)年 8 月分までは、古国府浄水場で測定。その他の期間は森岡小学校で測定。

出典:「令和 5 年度 大気環境調査報告書」(令和 7 年 3 月、大分県)

「大分市 HP / 令和 3 年版 環境白書(資料編)」(令和 3 年 10 月、大分市)

「大分市 HP / 令和 4 年版 環境白書(資料編)」(令和 4 年 10 月、大分市)

「大分市 HP / 令和 5 年版 環境白書(資料編)」(令和 5 年 10 月、大分市)

「大分市 HP / 令和 6 年版 環境白書(資料編)」(令和 6 年 10 月、大分市)

「大分市 HP / 令和 7 年版 環境白書(資料編)」(令和 7 年 10 月、大分市)

「環境省大気汚染物質広域監視システム(そらまめくん)HP / 測定局一覧」(令和 7 年 12 月現在、環境省)

(1) 二酸化硫黄 (SO₂)

二酸化硫黄の令和2年度～令和6年度の測定結果及び環境基準達成状況は表4.1.1-5に示すとおりです。長期的評価について、全ての測定局で環境基準を達成しています。短期的評価について、1つの測定局で環境基準を超過しています。

表4.1.1-5 二酸化硫黄の測定結果及び環境基準達成状況(令和2年～令和6年)

区分	番号	測定局名	測定年度	年平均値	短期的評価					長期的評価			環境基準の達成状況	
					1時間値の最高値	1時間値が0.1ppmを超えた時間数と割合		日平均値が0.04ppmを超えた日数と割合		日平均値の2%除外値	日平均値が0.04ppmを超えた日が2日以上連続したことの有無	環境基準の長期的評価による日平均値が0.04ppmを越えた日数	短期的評価	長期的評価
						[ppm]	[時間]	[%]	[日]					
一般環境 大気測定局	1	南大分 中学校	令和2年度	0.003	0.028	0	0	0	0	0.007		0		
			令和3年度	0.004	0.043	0	0	0	0	0.009		0		
			令和4年度	0.003	0.040	0	0	0	0	0.007		0		
			令和5年度	0.003	0.045	0	0	0	0	0.006		0		
			令和6年度	0.002	0.044	0	0	0	0	0.006		0		
	2	大東 中学校	令和2年度	0.003	0.024	0	0	0	0	0.005		0		
			令和3年度	0.003	0.037	0	0	0	0	0.006		0		
			令和4年度	0.003	0.035	0	0	0	0	0.005		0		
			令和5年度	0.003	0.028	0	0	0	0	0.006		0		
			令和6年度	0.002	0.020	0	0	0	0	0.005		0		
	3	敷戸 小学校	令和2年度	0.002	0.027	0	0	0	0	0.006		0		
			令和3年度	0.002	0.050	0	0	0	0	0.005		0		
			令和4年度	0.003	0.044	0	0	0	0	0.007		0		
			令和5年度	0.002	0.028	0	0	0	0	0.005		0		
			令和6年度	0.002	0.112	1	0	0	0	0.006		0	×	
	4	丹生 小学校	令和2年度	0.002	0.024	0	0	0	0	0.004		0		
			令和3年度	0.003	0.039	0	0	0	0	0.006		0		
			令和4年度	0.003	0.052	0	0	0	0	0.005		0		
			令和5年度	0.002	0.028	0	0	0	0	0.004		0		
			令和6年度	0.001	0.027	0	0	0	0	0.004		0		
5	戸次 中学校	令和2年度	0.002	0.029	0	0	0	0	0.005		0			
		令和3年度	0.002	0.060	0	0	0	0	0.004		0			
		令和4年度	0.002	0.038	0	0	0	0	0.006		0			
		令和5年度	0.002	0.034	0	0	0	0	0.004		0			
		令和6年度	0.002	0.040	0	0	0	0	0.004		0			

注1) 表中の番号は図4.1.1-2に対応

注2)

【環境基準】1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、1時間値が0.1ppm以下であること。

【評価方法(長期的評価)】

1年間の測定を通じて得られた1日平均値のうち、高い方から数えて2%の範囲にある測定値を除外した後の最高値(1日平均値の年間2%除外値)を環境基準と比較して評価を行う。ただし、環境基準を超える日が2日間以上連続した場合には非達成と評価する。

【評価方法(短期的評価)】

測定を行った日についての1時間値の1日平均値又は各1時間値を環境基準と比較して評価を行う。

出典:「大分市HP/令和3年版 環境白書(資料編)」(令和3年10月、大分市)

「大分市HP/令和4年版 環境白書(資料編)」(令和4年10月、大分市)

「大分市HP/令和5年版 環境白書(資料編)」(令和5年10月、大分市)

「大分市HP/令和6年版 環境白書(資料編)」(令和6年10月、大分市)

「大分市HP/令和7年版 環境白書(資料編)」(令和7年10月、大分市)

「国立環境研究所HP/大気汚染状況の常時監視結果データの説明(環境基準について)」(令和7年12月現在、国立研究開発法人 国立環境研究所)

(2)二酸化窒素 (NO₂)

二酸化窒素の令和2年度～令和6年度の測定結果及び環境基準達成状況は表 4.1.1-6 に示すとおりです。長期的評価について、全ての測定局で環境基準を達成しています。

表 4.1.1-6 二酸化窒素の測定結果及び環境基準達成状況 (令和2年～令和6年)

区分	番号	測定局名	測定年度	年平均値	1時間値の最高値	1時間値が0.2ppmを越えた時間数と割合		1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数と割合		日平均値が0.06ppmを越えた日数と割合		日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数と割合		長期的評価		環境基準の達成状況
						[時間]	[%]	[時間]	[%]	[日]	[%]	[日]	[%]	日平均値の年間98%値	98%値評価による日平均値が0.06ppmを越えた日数	
				[ppm]	[ppm]	[時間]	[%]	[時間]	[%]	[日]	[%]	[日]	[%]	[ppm]	[日]	適否 ^x
一般環境大気測定局	1	南大分中学校	令和2年度	0.006	0.038	0	0	0	0	0	0	0	0	0.017	0	
			令和3年度	0.007	0.039	0	0	0	0	0	0	0	0	0.015	0	
			令和4年度	0.006	0.044	0	0	0	0	0	0	0	0	0.014	0	
			令和5年度	0.006	0.039	0	0	0	0	0	0	0	0	0.016	0	
			令和6年度	0.005	0.035	0	0	0	0	0	0	0	0	0.014	0	
	2	大東中学校	令和2年度	0.006	0.041	0	0	0	0	0	0	0	0	0.014	0	
			令和3年度	0.006	0.030	0	0	0	0	0	0	0	0	0.012	0	
			令和4年度	0.006	0.037	0	0	0	0	0	0	0	0	0.012	0	
			令和5年度	0.005	0.036	0	0	0	0	0	0	0	0	0.012	0	
			令和6年度	0.004	0.033	0	0	0	0	0	0	0	0	0.010	0	
	3	敷戸小学校	令和2年度	0.006	0.037	0	0	0	0	0	0	0	0	0.015	0	
			令和3年度	0.005	0.036	0	0	0	0	0	0	0	0	0.012	0	
			令和4年度	0.005	0.031	0	0	0	0	0	0	0	0	0.012	0	
			令和5年度	0.004	0.030	0	0	0	0	0	0	0	0	0.010	0	
			令和6年度	0.004	0.031	0	0	0	0	0	0	0	0	0.010	0	
	4	丹生小学校	令和2年度	0.006	0.035	0	0	0	0	0	0	0	0	0.013	0	
			令和3年度	0.006	0.034	0	0	0	0	0	0	0	0	0.012	0	
			令和4年度	0.006	0.035	0	0	0	0	0	0	0	0	0.013	0	
			令和5年度	0.005	0.038	0	0	0	0	0	0	0	0	0.012	0	
			令和6年度	0.005	0.030	0	0	0	0	0	0	0	0	0.010	0	
5	戸次中学校	令和2年度	0.005	0.034	0	0	0	0	0	0	0	0	0.012	0		
		令和3年度	0.005	0.041	0	0	0	0	0	0	0	0	0.010	0		
		令和4年度	0.005	0.034	0	0	0	0	0	0	0	0	0.011	0		
		令和5年度	0.005	0.030	0	0	0	0	0	0	0	0	0.011	0		
		令和6年度	0.005	0.030	0	0	0	0	0	0	0	0	0.011	0		
排出自動車測定局	6	宮崎測定局	令和2年度	0.010	0.041	0	0	0	0	0	0	0	0	0.020	0	
			令和3年度	0.011	0.058	0	0	0	0	0	0	0	0	0.021	0	
			令和4年度	0.010	0.042	0	0	0	0	0	0	0	0	0.021	0	
			令和5年度	0.010	0.042	0	0	0	0	0	0	0	0	0.019	0	
			令和6年度	0.009	0.045	0	0	0	0	0	0	0	0	0.018	0	

注1) 表中の番号は図 4.1.1-2 に対応

注2)

【環境基準】1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。

【評価方法(長期的評価)】

1年間の測定を通じて得られた1日平均値のうち、低い方から数えて98%目(1日平均値の年間98%値)を環境基準と比較して評価を行う。

出典:「大分市HP/令和3年版 環境白書(資料編)」(令和3年10月、大分市)

「大分市HP/令和4年版 環境白書(資料編)」(令和4年10月、大分市)

「大分市HP/令和5年版 環境白書(資料編)」(令和5年10月、大分市)

「大分市HP/令和6年版 環境白書(資料編)」(令和6年10月、大分市)

「大分市HP/令和7年版 環境白書(資料編)」(令和7年10月、大分市)

「国立環境研究所HP/大気汚染状況の常時監視結果データの説明(環境基準について)」(令和7年12月現在、国立研究開発法人 国立環境研究所)

(3)一酸化炭素(CO)

一酸化炭素の令和2年度～令和6年度の測定結果及び環境基準達成状況は表4.1.1-7に示すとおりです。長期的評価、短期的評価のいずれも環境基準を達成しています。

表4.1.1-7 一酸化炭素の測定結果及び環境基準達成状況(令和2年～令和6年)

区分	番号	測定局名	測定年度	年平均値	短期的評価						長期的評価			環境基準の達成状況			
					1時間値の最高値	8時間値が20ppmを超えた回数とその割合		日平均値が10ppmを超えた日数とその割合		1時間値が30ppm以上となったことがある日数とその割合		日平均値の2%除外値	日平均値が10ppmを超えた日が2日以上連続したことの有無	環境基準の長期評価による日平均値が10ppmを超えた日数	短期的評価	長期的評価	
						[ppm]	[日]	[%]	[日]	[%]	[日]						[%]
排出自動車 測定局	6	宮崎測定局	令和2年度	0.3	2.1	0	0	0	0	0	0	0	0.6		0		
			令和3年度	0.3	1.5	0	0	0	0	0	0	0	0.5		0		
			令和4年度	0.3	2.1	0	0	0	0	0	0	0	0.7		0		
			令和5年度	0.2	1.7	0	0	0	0	0	0	0	0.6		0		
			令和6年度	0.3	1.8	0	0	0	0	0	0	0	0.7		0		

注1) 表中の番号は図4.1.1-2に対応

注2)

【環境基準】

1時間値の1日平均値が10ppm以下であり、かつ、1時間値の8時間平均値が20ppm以下であること。

【評価方法(長期的評価)】

1年間の測定を通じて得られた1日平均値のうち、高い方から数えて2%の範囲にある測定値を除外した後の最高値(1日平均値の年間2%除外値)を環境基準と比較して評価を行う。ただし、環境基準を超える日が2日間以上連続した場合には非達成と評価する。

【評価方法(短期的評価)】

測定を行った日についての1時間値の1日平均値もしくは8時間平均値を環境基準と比較して評価を行う。

出典:「大分市HP/令和3年版 環境白書(資料編)」(令和3年10月、大分市)

「大分市HP/令和4年版 環境白書(資料編)」(令和4年10月、大分市)

「大分市HP/令和5年版 環境白書(資料編)」(令和5年10月、大分市)

「大分市HP/令和6年版 環境白書(資料編)」(令和6年10月、大分市)

「大分市HP/令和7年版 環境白書(資料編)」(令和7年10月、大分市)

「国立環境研究所HP/大気汚染状況の常時監視結果データの説明(環境基準について)」(令和7年12月現在、国立研究開発法人 国立環境研究所)

(4)浮遊粒子状物質 (SPM)

浮遊粒子状物質の令和2年度～令和6年度の測定結果及び環境基準達成状況は表 4.1.1-8 に示すとおりです。長期的評価、短期的評価のいずれも、全ての測定局で環境基準を達成しています。

表 4.1.1-8 浮遊粒子状物質の測定結果及び環境基準達成状況 (令和2年～令和6年)

区分	番号	測定局名	測定年度	年平均値	短期的評価				長期的評価		環境基準の達成状況		
					1時間値の最高値	1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数と割合		日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数と割合		日平均値の2%除外値	日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日が2日以上連続したことの有無	短期的評価	長期的評価
						[時間]	[%]	[日]	[%]				
一般環境大気測定局	1	南大分中学校	令和2年度	0.015	0.100	0	0	0	0	0.043			
			令和3年度	0.014	0.062	0	0	0	0	0.030			
			令和4年度	0.015	0.106	0	0	0	0	0.032			
			令和5年度	0.014	0.062	0	0	0	0	0.030			
			令和6年度	0.014	0.104	0	0	0	0	0.035			
	2	大東中学校	令和2年度	0.017	0.132	0	0	0	0	0.048			
			令和3年度	0.015	0.094	0	0	0	0	0.031			
			令和4年度	0.017	0.123	0	0	0	0	0.036			
			令和5年度	0.014	0.074	0	0	0	0	0.035			
			令和6年度	0.015	0.078	0	0	0	0	0.035			
	3	敷戸小学校	令和2年度	0.011	0.101	0	0	0	0	0.033			
			令和3年度	0.011	0.084	0	0	0	0	0.023			
			令和4年度	0.013	0.086	0	0	0	0	0.029			
			令和5年度	0.012	0.061	0	0	0	0	0.027			
			令和6年度	0.014	0.111	0	0	0	0	0.036			
	4	丹生小学校	令和2年度	0.017	0.154	0	0	0	0	0.045			
			令和3年度	0.015	0.099	0	0	0	0	0.031			
			令和4年度	0.017	0.112	0	0	0	0	0.036			
			令和5年度	0.015	0.085	0	0	0	0	0.035			
			令和6年度	0.015	0.072	0	0	0	0	0.034			
5	戸次中学校	令和2年度	0.013	0.153	0	0	0	0	0.040				
		令和3年度	0.011	0.095	0	0	0	0	0.024				
		令和4年度	0.012	0.115	0	0	0	0	0.030				
		令和5年度	0.014	0.130	0	0	0	0	0.033				
		令和6年度	0.014	0.082	0	0	0	0	0.035				
測定局 排出ガス 自動車	6	宮崎測定局	令和2年度	0.015	0.119	0	0	0	0	0.044			
			令和3年度	0.013	0.095	0	0	0	0	0.026			
			令和4年度	0.016	0.116	0	0	0	0	0.037			
			令和5年度	0.014	0.086	0	0	0	0	0.032			
			令和6年度	0.014	0.092	0	0	0	0	0.033			

注1) 表中の番号は図 4.1.1-2 に対応

注2)

【環境基準】

1時間値の1日平均値が0.10mg/m³以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m³以下であること。

【評価方法(長期的評価)】

1年間の測定を通じて得られた1日平均値のうち、高い方から数えて2%の範囲にある測定値を除外した後の最高値(1日平均値の年間2%除外値)を環境基準と比較して評価を行う。ただし、環境基準を超える日が2日間以上連続した場合には非達成と評価する。

【評価方法(短期的評価)】

測定を行った日についての1時間値の1日平均値又は各1時間値を環境基準と比較して評価を行う。

出典:「大分市HP/令和3年版 環境白書(資料編)」(令和3年10月、大分市)

「大分市HP/令和4年版 環境白書(資料編)」(令和4年10月、大分市)

「大分市HP/令和5年版 環境白書(資料編)」(令和5年10月、大分市)

「大分市HP/令和6年版 環境白書(資料編)」(令和6年10月、大分市)

「大分市HP/令和7年版 環境白書(資料編)」(令和7年10月、大分市)

「国立環境研究所HP/大気汚染状況の常時監視結果データの説明(環境基準について)」(令和7年12月現在、国立研究開発法人 国立環境研究所)

(5)光化学オキシダント (Ox)

光化学オキシダントの令和 2 年度～令和 6 年度の測定結果及び環境基準達成状況は表 4.1.1-9 に示すとおりです。短期的評価について、全ての測定局で環境基準を超過していません。

表 4.1.1-9 光化学オキシダントの測定結果及び環境基準達成状況 (令和 2 年～令和 6 年)

区分	番号	測定局名	測定年度	昼間の 1 時間値の年平均値	昼間の 1 時間値の最高値	短期的評価		昼間の 1 時間値が 0.12ppm 以上の日数と時間数		昼間の 1 時間値の日最高 1 時間値の年平均値	環境基準の達成状況		
				[ppm]	[ppm]	昼間の 1 時間値が 0.06ppm を超えた日数と時間数		[日]	[時間]	[日]	[時間]	[ppm]	短期的評価
						[日]	[時間]	[日]	[時間]		適否 ×		
一般環境大気測定局	1	南大分中学校	令和 2 年度	0.037	0.091	83	417	0	0	0.051	×		
			令和 3 年度	0.036	0.091	69	327	0	0	0.050	×		
			令和 4 年度	0.036	0.098	86	376	0	0	0.050	×		
			令和 5 年度	0.048	0.098	71	326	0	0	0.100	×		
			令和 6 年度	0.036	0.108	61	308	0	0	0.049	×		
	2	大東中学校	令和 2 年度	0.035	0.089	65	329	0	0	0.049	×		
			令和 3 年度	0.035	0.093	67	349	0	0	0.048	×		
			令和 4 年度	0.034	0.089	63	296	0	0	0.048	×		
			令和 5 年度	0.046	0.089	64	272	0	0	0.089	×		
			令和 6 年度	0.034	0.089	54	321	0	0	0.047	×		
	3	敷戸小学校	令和 2 年度	0.034	0.097	65	306	0	0	0.049	×		
			令和 3 年度	0.033	0.092	58	259	0	0	0.047	×		
			令和 4 年度	0.032	0.090	52	227	0	0	0.046	×		
			令和 5 年度	0.044	0.090	48	181	0	0	0.086	×		
			令和 6 年度	0.032	0.092	51	257	0	0	0.045	×		
	4	丹生小学校	令和 2 年度	0.033	0.091	63	302	0	0	0.048	×		
			令和 3 年度	0.033	0.093	58	278	0	0	0.047	×		
			令和 4 年度	0.033	0.098	53	254	0	0	0.047	×		
			令和 5 年度	0.045	0.098	58	245	0	0	0.087	×		
			令和 6 年度	0.035	0.090	54	302	0	0	0.048	×		
5	戸次中学校	令和 2 年度	0.033	0.088	69	332	0	0	0.049	×			
		令和 3 年度	0.034	0.088	70	347	0	0	0.049	×			
		令和 4 年度	0.032	0.090	65	325	0	0	0.048	×			
		令和 5 年度	0.047	0.090	63	293	0	0	0.094	×			
		令和 6 年度	0.035	0.097	65	327	0	0	0.049	×			

注 1) 表中の番号は図 4.1.1-2 に対応

注 2) 昼間とは 5 時から 20 時までの時間帯をいう。

注 3) 「昼間の 1 時間値が 0.12ppm 以上」は、「大気汚染防止法」(昭和 43 年 6 月 10 日 法律第 97 号、最終改正：令和 4 年 6 月 17 日 法律第 68 号) 第 23 条第 1 項に規定する緊急時の措置の基準。

注 4)

【環境基準】1 時間値が 0.06ppm 以下であること。

【評価方法 (短期的評価)】1 時間値の年間最高値を環境基準と比較して評価を行う。

出典：「大分市 HP / 令和 3 年版 環境白書 (資料編)」(令和 3 年 10 月、大分市)

「大分市 HP / 令和 4 年版 環境白書 (資料編)」(令和 4 年 10 月、大分市)

「大分市 HP / 令和 5 年版 環境白書 (資料編)」(令和 5 年 10 月、大分市)

「大分市 HP / 令和 6 年版 環境白書 (資料編)」(令和 6 年 10 月、大分市)

「大分市 HP / 令和 7 年版 環境白書 (資料編)」(令和 7 年 10 月、大分市)

「国立環境研究所 HP / 大気汚染状況の常時監視結果データの説明 (環境基準について)」(令和 7 年 12 月現在、国立研究開発法人 国立環境研究所)

(6) 微小粒子状物質 (PM2.5)

微小粒子状物質の令和2年度～令和6年度の測定結果及び環境基準達成状況は表 4.1.1-10 に示すとおりです。長期的評価について環境基準を達成しています。

表 4.1.1-10 微小粒子状物質の測定結果及び環境基準達成状況 (令和2年～令和6年)

区分	番号	測定局名	測定年度	年平均値 [µg/m³]	長期的評価			
					日平均値が 35 µg/m³ を 超えた日数とその割合		日平均値の 年間98%値	環境基準の達成状況 適否 ×
					[日]	[%]	[µg/m³]	
大気測定局 一般環境	5	戸次中学校	令和2年度	9.0	3	0.8	26.0	○
			令和3年度	8.1	0	0	19.7	○
			令和4年度	10.4	0	0	24.3	○
			令和5年度	8.9	0	0	21.5	○
			令和6年度	9.0	0	0	22.5	○

注1) 表中の番号は図 4.1.1-2 に対応
注2)

【環境基準】1年平均値が 15 µg/m³ 以下であり、かつ、1日平均値が 35 µg/m³ 以下であること。

【評価方法 (長期的評価)】

長期基準に対応した環境基準達成状況は、長期的評価として測定結果の1年平均値について評価を行うものとする。短期基準に対応した環境基準達成状況は、短期基準が健康リスクの上昇や統計学的な安定性を考慮して年間 98 パーセンタイル値を超える高濃度領域の濃度出現を減少させるために設定されることを踏まえ、長期的評価としての測定結果の年間 98 パーセンタイル値を日平均値の代表値として選択し、評価を行うものとする。測定局における測定結果 (1年間平均値及び 98 パーセンタイル値) を踏まえた環境基準達成状況については、長期基準及び短期基準の達成若しくは非達成の評価を各々行い、その上で両者の基準を達成することによって評価するものとする。ただし、年間の総有効測定日数が 250 日に満たない測定局については、環境基準による大気汚染の評価の対象とはしないものとする。

出典: 「大分市 HP / 令和3年版 環境白書 (資料編)」(令和3年10月、大分市)
「大分市 HP / 令和4年版 環境白書 (資料編)」(令和4年10月、大分市)
「大分市 HP / 令和5年版 環境白書 (資料編)」(令和5年10月、大分市)
「大分市 HP / 令和6年版 環境白書 (資料編)」(令和6年10月、大分市)
「大分市 HP / 令和7年版 環境白書 (資料編)」(令和7年10月、大分市)
「国立環境研究所 HP / 大気汚染状況の常時監視結果データの説明 (環境基準について)」(令和7年12月現在、国立研究開発法人 国立環境研究所)

(7) ダイオキシン類

調査区域では、大気質のダイオキシン類に係る調査は行われていません。

(8) 降下ばいじん

降下ばいじんの令和2年度～令和6年度の測定結果は表 4.1.1-11 に示すとおりです。
降下ばいじんには環境基準は設定されていません。

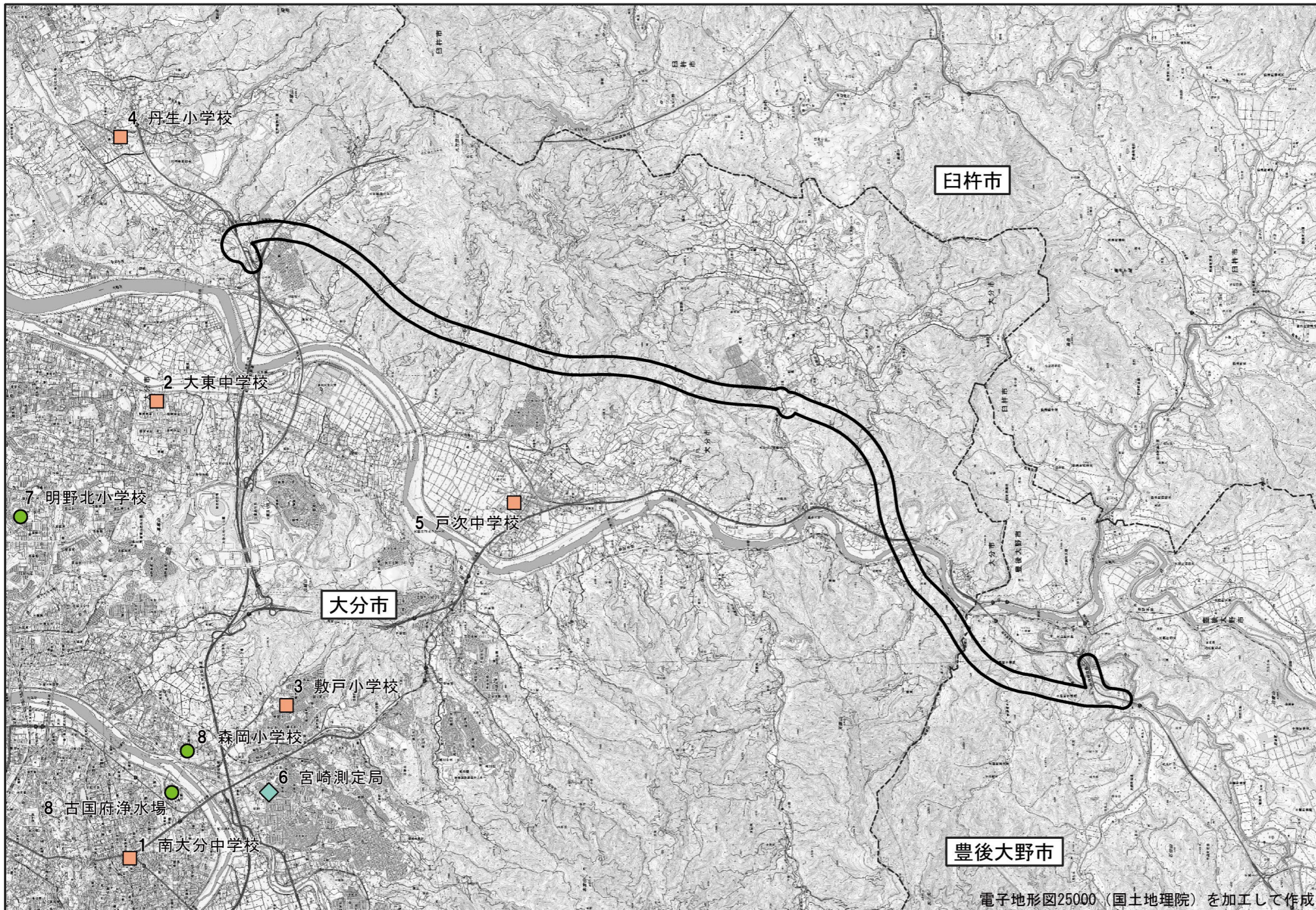
表 4.1.1-11 降下ばいじんの測定結果（令和2年～令和6年）

区分	番号	測定地点名	測定年度	年平均値 (t/km ² /月)
降下ばいじん 測定地点	7	明野北小学校	令和2年度	2.7
			令和3年度	2.1
			令和4年度	2.2
			令和5年度	1.9
			令和6年度	2.3
	8	森岡小学校 (古国府浄水場)	令和2年度	1.6
			令和3年度	1.4
			令和4年度	1.6
			令和5年度	1.8
			令和6年度	1.9






注) 表中の番号は図 4.1.1-2 に対応

) 地点番号 8 に関して、2020(R2)年 9 月分から 2021 年 (R3) 年 8 月分までは、古国府浄水場で測定。その他の期間は森岡小学校で測定。

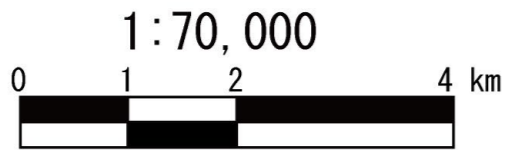
出典：「大分市 HP / 令和 3 年版 環境白書 (資料編)」(令和 3 年 10 月、大分市)
「大分市 HP / 令和 4 年版 環境白書 (資料編)」(令和 4 年 10 月、大分市)
「大分市 HP / 令和 5 年版 環境白書 (資料編)」(令和 5 年 10 月、大分市)
「大分市 HP / 令和 6 年版 環境白書 (資料編)」(令和 6 年 10 月、大分市)
「大分市 HP / 令和 7 年版 環境白書 (資料編)」(令和 7 年 10 月、大分市)



凡例

-  都市計画対象道路事業実施区域
-  市町村界
-  一般環境大気測定局
-  自動車排ガス測定局
-  降下ばいじん

電子地形図25000 (国土地理院) を加工して作成



出典：「令和5年度大気環境調査報告書」(令和7年3月、大分県)
 「大分市HP/令和3年版 環境白書 (資料編)」(令和3年10月、大分市)
 「大分市HP/令和4年版 環境白書 (資料編)」(令和4年10月、大分市)
 「大分市HP/令和5年版 環境白書 (資料編)」(令和5年10月、大分市)
 「大分市HP/令和6年版 環境白書 (資料編)」(令和6年10月、大分市)
 「大分市HP/令和7年版 環境白書 (資料編)」(令和7年10月、大分市)
 「大分県大気環境情報HP/測定局紹介」(令和7年12月現在、大分県生活環境部 環境保全課)

図 4.1.1-2 大気質測定地点位置図

3)騒音の状況

(1)自動車騒音

令和2年度～令和6年度の自動車騒音の調査結果は表4.1.1-12に、調査地点位置は図4.1.1-3に示すとおりです。

調査区域では、大分市内の16地点で調査が実施されており、調査地点16地点のうち、12地点で環境基準を達成しています。

表 4.1.1-12 自動車騒音の状況（令和2年度～令和6年度）

[単位：dB]

番号	市名	測定地点	道路名	地域の区分	等価騒音レベル (L_{Aeq})		環境基準達成状況 適○ 否×		環境基準	要請限度 適○ 超過×		要請限度	測定年度
					昼間	夜間	昼間	夜間		昼間	夜間		
1	大分市	丹川	東九州自動車道	幹線道路	52	46	○	○	昼間 70 以下 夜間 65 以下	○	○	昼間 75 以下 夜間 70 以下	令和5年
2		宮崎	一般国道10号		67	61	○	○		○	○		令和4年
3		中戸次	一般国道10号		71	65	×	○		○	○		令和6年
4		中戸次	一般国道10号		70	65	○	○		○	○		令和6年
5		古国府	一般国道10号		71	64	×	○		○	○		令和6年
6		中判田	一般国道10号		71	67	×	×		○	○		令和6年
7		佐野	一般国道197号		54	48	○	○		○	○		令和4年
8		大道	一般国道210号		68	65	○	○		○	○		令和6年
9		奥田	一般国道442号		67	61	○	○		○	○		令和4年
10		錦町	県道21号大分白杵線		72	66	×	×		○	○		令和6年
11		東大道	県道21号大分白杵線		58	52	○	○		○	○		令和3年
12		明野北	県道21号大分白杵線		67	65	○	○		○	○		令和3年
13		明野東	県道松岡日岡線		67	59	○	○		○	○		令和3年
14		片島	市道下郡宮崎大通り線		70	65	○	○		○	○		令和2年
15		金池南	市道金池上野丘線		63	55	○	○		○	○		令和5年
16		明野北	市道萩原東明野線		63	54	○	○		○	○		令和3年

） 幹線道路：幹線交通を担う道路に近接する空間

注1) 表中の番号は図4.1.1-3に対応

注2) 時間区分：昼間：6時～22時、夜間：22時～6時

注3) 環境基準について、幹線交通を担う道路に近接する空間については、地域類型にかかわらず、昼間：70dB以下、夜間：65dB以下である。

注4) 要請限度について、幹線交通を担う道路に近接する空間については、区域区分にかかわらず、昼間：75dB以下、夜間：70dB以下である。

出典：「大分県HP/令和2年版 環境白書（資料編）」（令和7年12月現在、大分県）

「大分県HP/令和3年版 環境白書（資料編）」（令和7年12月現在、大分県）

「大分県HP/令和4年版 環境白書（資料編）」（令和7年12月現在、大分県）

「大分県HP/令和5年版 環境白書（資料編）」（令和7年12月現在、大分県）

「大分県HP/令和6年版 環境白書（資料編）」（令和7年12月現在、大分県）

「大分市HP/令和7年版 環境白書（資料編）」（令和7年10月、大分市）

(2)環境騒音

令和6年度の環境騒音の調査結果は表 4.1.1-13 に、調査地点位置は図 4.1.1-3 に示すとおりです。

調査区域では、大分市内の4地点で調査が実施されており、全ての調査地点で環境基準を達成しています。

表 4.1.1-13 環境騒音の状況（令和6年度）

[単位：dB]

番号	市名	調査地点	環境基準 類型	用途地域	等価騒音 レベル (L_{Aeq})		環境基準 達成状況 適 否 ×		環境基準
					昼間	夜間	昼間	夜間	
1	大分市	南大分公民館	A	第1種中高層住居専用地域	46	39			昼間 55以下 夜間 45以下
2		明治明野公民館	A	第1種中高層住居専用地域	46	39			
3		大南市民センター	B	第1種住居地域	46	40			
4		坂ノ市公民館	B	第1種住居地域	51	42			

注1) 表中の番号は図 4.1.1-3 に対応

注2) 時間区分：昼間：6時～22時、夜間：22時～6時

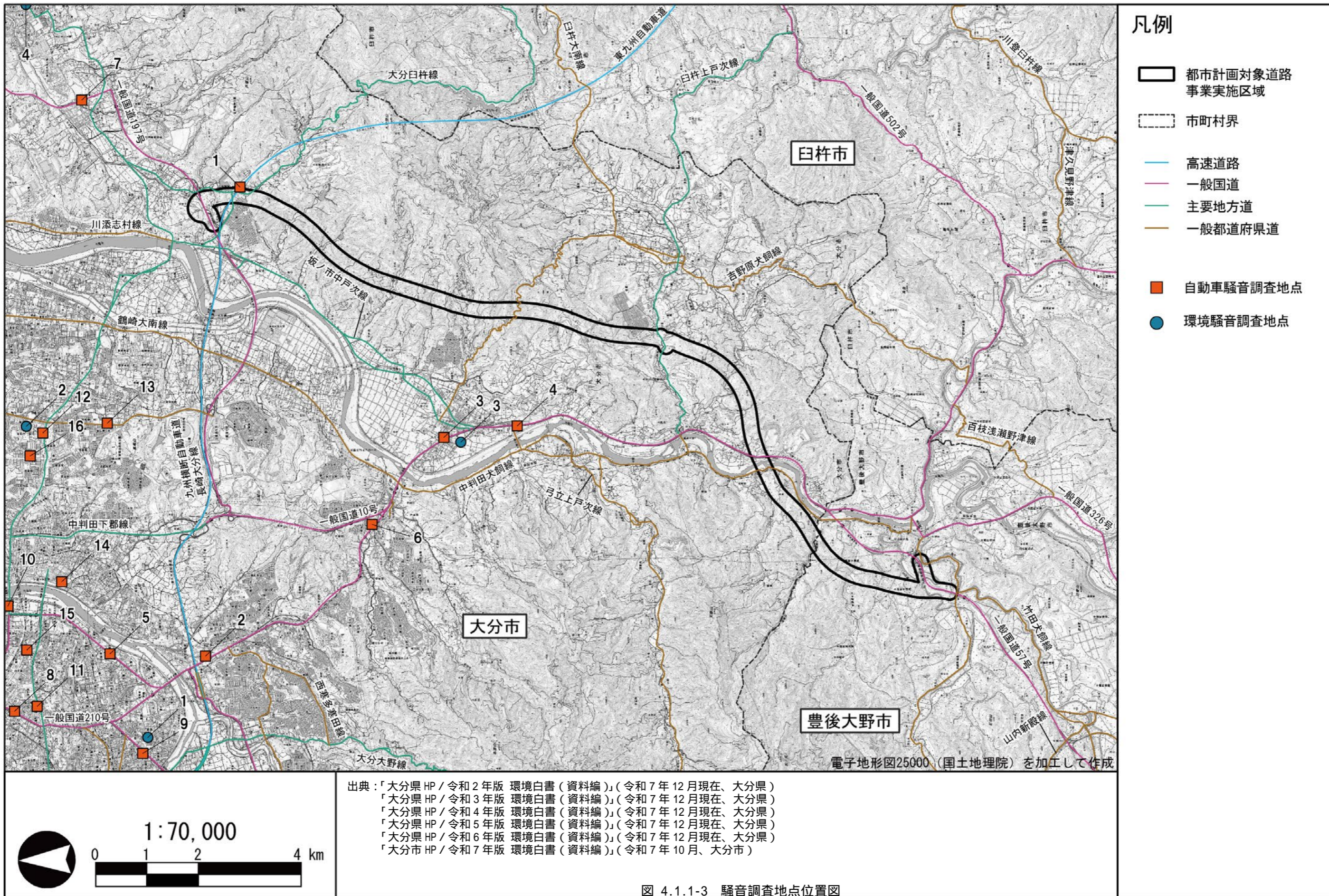
注3) 地域類型と環境基準の関係は、以下のとおりである。

AA地域 昼間：50dB以下、夜間：40dB以下

A地域及びB地域 昼間：55dB以下、夜間：45dB以下

C地域 昼間：60dB以下、夜間：50dB以下

出典：「大分市HP/令和7年版 環境白書（資料編）」（令和7年10月、大分市）



4)振動の状況

令和2年度～令和6年度の道路交通振動の調査結果は表 4.1.1-14 に、調査地点位置は図 4.1.1-4 に示すとおりです。

調査区域では、大分市内の15地点で調査が実施されており、要請限度を超過した調査地点はありません。

表 4.1.1-14 道路交通振動の状況（令和2年度～令和6年度）

[単位：dB]

番号	測定地点	要請限度区域	路線名	車線数	80%レンジの上端値(L ₁₀)		要請限度適超過×		要請限度	測定年度
					昼間	夜間	昼間	夜間		
1	宮崎	第2種	一般国道10号	4	44	38	○	○	昼間 70以下 夜間 65以下	令和4年
2	中戸次	第2種	一般国道10号	4	44	36	○	○		令和6年
3	中戸次	第2種	一般国道10号	4	44	40	○	○		令和6年
4	古国府	第1種	一般国道10号	2	44	32	○	○	昼間 65以下 夜間 60以下	令和6年
5	中判田	第1種	一般国道10号	2	43	34	○	○		令和6年
6	佐野	第1種	一般国道197号	4	35	27	○	○		令和4年
7	大道	第2種	一般国道210号	5	42	37	○	○	昼間 70以下 夜間 65以下	令和6年
8	奥田	第2種	一般国道442号	3	43	40	○	○		令和4年
9	錦町	第2種	県道21号大分臼杵線	4	47	39	○	○		令和6年
10	東大道	第1種	県道21号大分臼杵線	4	33	28	○	○	昼間 65以下 夜間 60以下	令和3年
11	明野北	第2種	県道21号大分臼杵線	3	22	20	○	○		令和3年
12	明野東	第1種	県道松岡日岡線	2	37	32	○	○		令和3年
13	片島	第2種	市道下郡宮崎大通り線	4	43	40	○	○	昼間 70以下 夜間 65以下	令和2年
14	金池南	第2種	市道金池上野丘線	4	43	35	○	○		令和5年
15	明野北	第1種	市道萩原東明野線	4	26	23	○	○	昼間 65以下 夜間 60以下	令和3年

注1) 表中の番号は図 4.1.1-4 に対応

注2) 時間区分：昼間：8時～19時、夜間：19時～8時

注3) 区域区分と要請限度の関係は、以下のとおりである。

第1種区域 昼間：65dB以下、夜間：60dB以下

第2種区域 昼間：70dB以下、夜間：65dB以下

出典：「大分市HP/令和6年版 環境白書（資料編）」（令和6年10月、大分市）

「大分市HP/令和7年版 環境白書（資料編）」（令和7年10月、大分市）

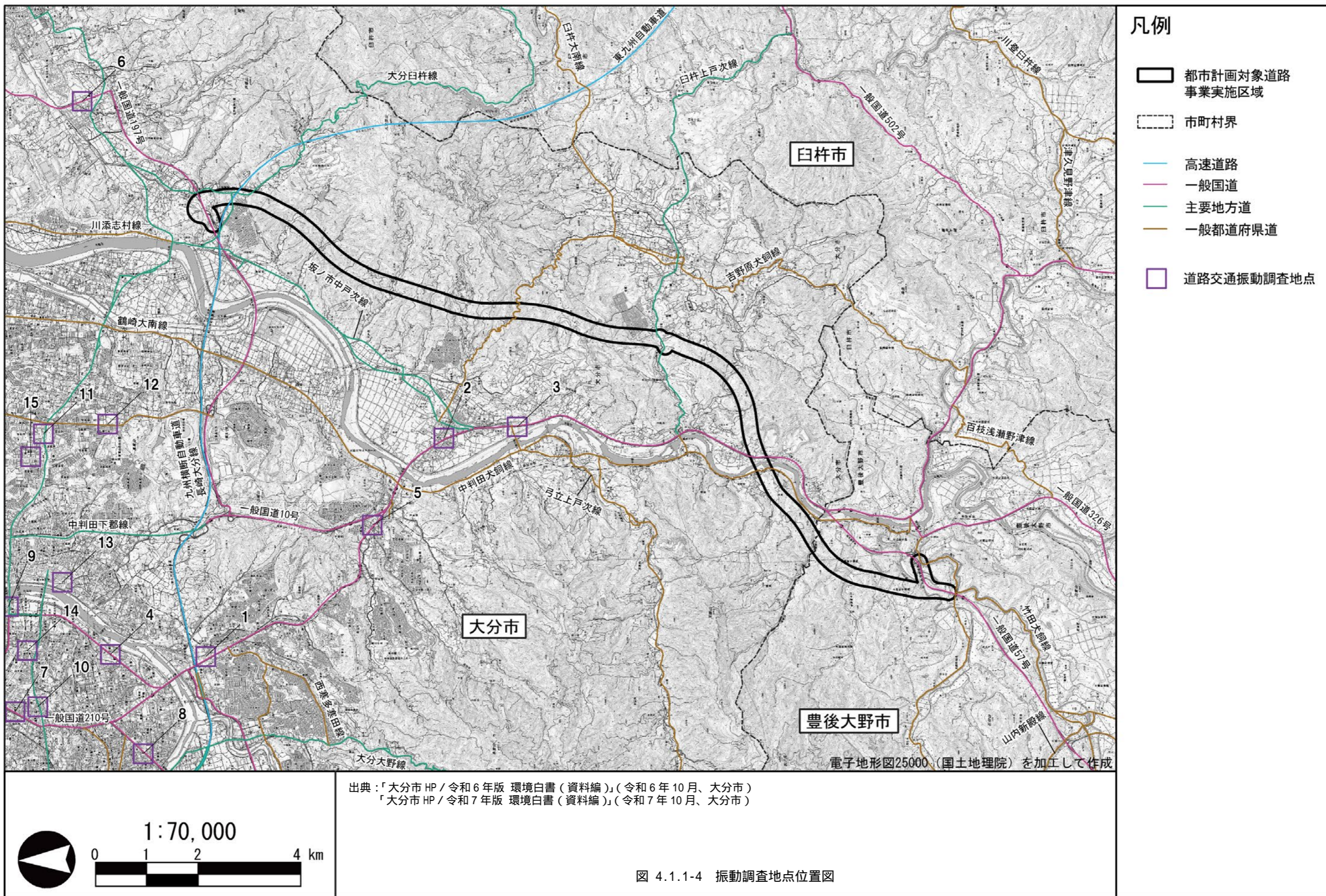


図 4.1.1-4 振動調査地点位置図

5)その他

調査区域では、低周波音等に係る公表資料はありません。

4.1.2 水環境の状況

1) 水象の状況

(1) 河川の分布の状況

調査区域における主な河川の一覧は表 4.1.2-1 に、主な河川の位置は図 4.1.2-1 に示すとおりです。

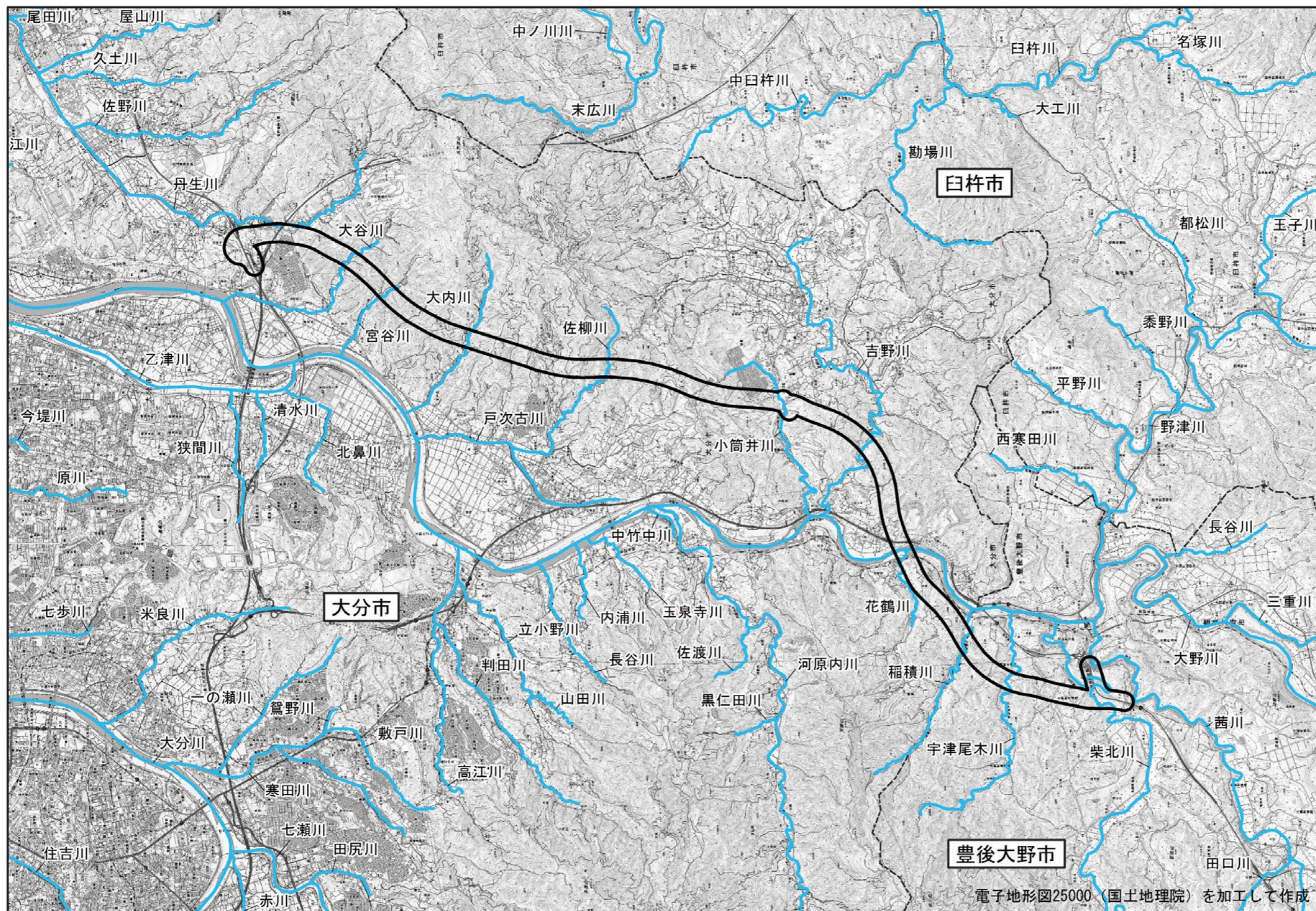
調査区域には、一級河川の大野川、大分川等、二級河川の臼杵川、末広川、丹生川等があります。

表 4.1.2-1 主な河川の一覧

区分	水系	河川名	大分県内 流路延長 (m)	文献	区分	水系	河川名	大分県内 流路延長 (m)	文献
一級河川	大分川	大分川	51,198	1,2	一級河川	大野川	佐渡川	2,000	2
		七歩川	2,300	2			黒仁田川	3,000	2
		米良川	4,270	2			小筒井川	2,850	2
		寒田川	4,500	2			吉野川	4,000	2
		一の瀬川	2,750	2			花鶴川	500	2
		敷戸川	3,350	2			稻積川	2,300	2
		鷺野川	500	2			宇津尾木川	4,900	4
		七瀬川	27,527	1,2			柴北川	21,800	1,4
		田尻川	2,000	2			茜川	18,300	1,4
		赤川	800	2			田口川	2,000	4
		大野川	大野川	76,375			1,2,4	二級河川	住吉川
	乙津川		10,155	1	江川	2,400	2		
	大谷川		3,600	2	丹生川	丹生川	10,250		1,2
	北鼻川		3,600	2		尾田川	4,725		2
	清水川		1,320	2		屋山川	3,400		2
	挾間川		1,650	2		久土川	2,820		2
	原川		4,800	2		佐野川	4,170		2
	今堤川		2,500	2	末広川	末広川	12,000		1,3
	宮谷川		1,500	2		中ノ川川	7,400		3
	大内川		2,000	2	臼杵川	臼杵川	18,214		1,3
	戸次古川		4,300	2		中臼杵川	4,510		3
	佐柳川		1,200	2		勘場川	3,300		3
	判田川		4,309	2		大工川	1,100		3
	立小野川		2,700	2					
	高江川		2,000	2					
	長谷川		2,500	2					
	内浦川		1,400	2					
	玉泉寺川		3,000	2					
	中竹中川		700	2					
	河原内川		10,200	1,2					

注) 流域が大分・臼杵・豊後大野土木事務所管外に及ぶ河川については出典 1) の流路延長を参照。

- 出典：1) 「大分県 HP / 令和 6 年版 大分県統計年鑑」(令和 7 年 12 月現在、大分県)
 2) 「大分県 HP / 令和 7 年度 事業概要書」(令和 7 年 12 月現在、大分土木事務所)
 3) 「大分県 HP / 令和 7 年度 事業概要書」(令和 7 年 12 月現在、臼杵土木事務所)
 4) 「大分県 HP / 令和 7 年度 事業概要書」(令和 7 年 12 月現在、豊後大野土木事務所)



凡例

- 都市計画対象道路事業実施区域
- 市町村界
- 主な河川

電子地形図25000 (国土地理院) を加工して作成

出典：「国土交通省 HP / 国土数値情報 (河川データ) (令和 7 年 12 月現在、国土交通省)」「大分県河川管内図」(令和 6 年 12 月、大分県土木建築部河川課)



図 4.1.2-1 主な河川の位置

(2)湖沼等の分布の状況

調査区域において、屋山池、赤迫池、末広ダム等、農業用水や生活用水としての利用のための溜池やダム湖があります。

調査区域に分布する主要な溜池及びダム湖の一覧は表 4.1.2-2 に、主な湖沼等の位置は図 4.1.2-2 に示すとおりです。

表 4.1.2-2 主な湖沼等の一覧

番号	市町村	湖沼等名
1	大分市	屋山池
2		赤迫池
3	臼杵市	末広ダム

出典：「国土交通省 HP / 地理院地図（電子国土 Web）」（令和 7 年 12 月現在、国土交通省）

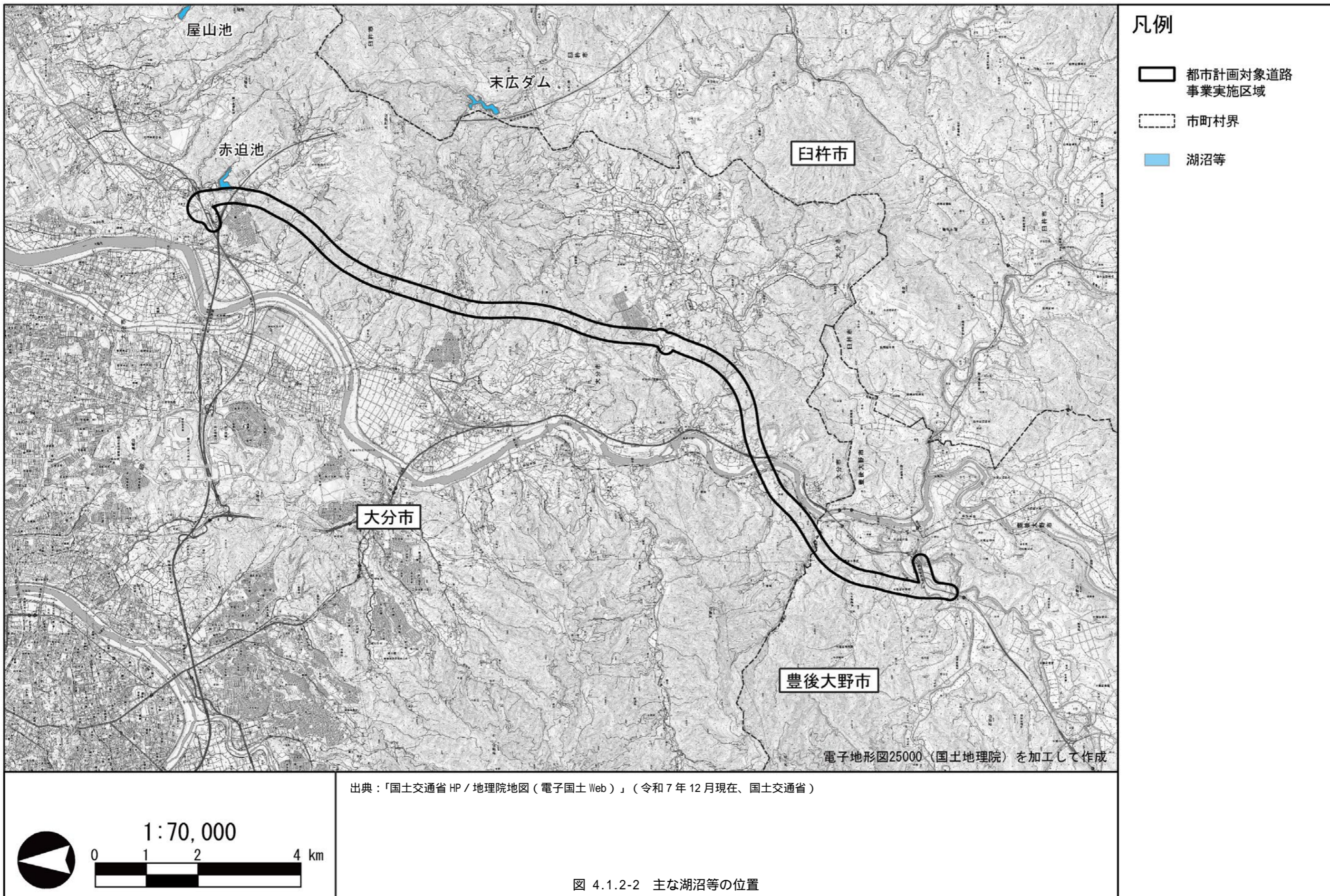


図 4.1.2-2 主な湖沼等の位置

(3) 海域の分布の状況

調査区域には海域はありません。

2) 水質その他の水に係る環境の状況

(1) 河川の水質の状況

調査区域における、河川の測定地点及び測定項目は表 4.1.2-3 に、測定地点は図 4.1.2-3 に示すとおりです。

表 4.1.2-3 測定地点及び測定項目（河川）

番号	水域名 (河川名)	測定地点	類型	達成 期間	環境 基準点 (生活)	環境 基準点 (生物)	生活 環境 項目	水生 生物 保全 環境基 準項目	健康 項目	ダイオ キシン 類
1	住吉川	鳥越橋	C	イ	-	-		-	-	-
2	丹生川下流	川田橋	B	ロ	-	-		-		-
3	丹生川上流	丹生橋	A	イ					-	-
4	尾田川	落合橋	-	-	-		-		-	-
5	大分川下流	滝尾橋	B	ハ	-	-				
6	大分川下流	広瀬橋	B	ハ		-		-		-
7	大分川下流	平田橋	B	ハ	-				-	-
8	大分川中流	府内大橋	A	ロ						
9	大分川中流	明礮橋	A	ロ	-	-		-	-	-
10	大分川中流	光吉	A	ロ	-				-	-
11	大野川下流	川添橋	A	ロ	-	-				
12	大野川下流	白滝橋	A	ロ						
13	大野川下流	八地藏橋	A	ロ	-				-	-
14	大野川上流	犬飼	A	イ				-	-	-
15	大野川上流	福門大橋	A	イ	-			-	-	-
16	大野川上流	吉四六大橋	A	イ	-			-		
17	乙津川	高田橋	A	イ	-	-		-		-

) 令和5年調査地点

注1) 表中の番号は図 4.1.2-3 に対応

注2) 類型欄の“-”は類型が設定されていないことを示す。

注3) 環境基準の達成期間の区分

イ：直ちに達成、ロ：5年以内で可及的速やかに達成、ハ：5年を超える期間で可及的速やかに達成

注4) 「-」の項目は、測定されていない項目であることを示す。

出典：「大分県 HP / 令和5年度 公共用水域及び地下水の水質測定結果報告書」(令和7年12月現在、大分県生活環境部環境保全課)

「大分県 HP / 令和6年度 公共用水域及び地下水の水質測定結果報告書」(令和7年12月現在、大分県生活環境部環境保全課)

「大分県 HP / 令和6年度 公共用水域及び地下水の水質測定結果報告書 水質測定結果総括表(公共用水域)」(令和7年12月現在、大分県生活環境部環境保全課)

生活環境の保全に関する項目（生活環境項目）

調査区域に存在する河川における、生活環境項目の令和5年度の水質調査結果は表 4.1.2-4 に、調査地点位置は図 4.1.2-3 に示すとおりです。

生活環境項目は 16 地点で調査が行われており、D0（溶存酸素量）BOD（生物化学的酸素要求量）SS（浮遊物質）については全ての調査地点で環境基準を達成していますが、pH（水素イオン濃度）については 2 地点で、大腸菌数については調査が行われた 13 地点のうち 5 地点で環境基準を超過しています。また、水生生物の保全に係る項目は 9 地点で調査が行われており、全ての調査地点で環境基準を達成しています。

表 4.1.2-4(1) 水質調査結果（生活環境項目 令和 6 年度）

番号	水域名 (河川名)	地点名	類型	達成 期間	pH	D0 (mg/L)	BOD (mg/L)	SS (mg/L)	大腸菌数 (CFU/100mL)	
					最小-最大	平均	75%値	平均	90%値	
1	住吉川	鳥越橋	C	イ	8.4-8.9	12	1.6	<1		
2	丹生川下流	川田橋	B	ロ	7.5-9.0	9.7	1.4	6	380	
3	丹生川上流	丹生橋	A	イ	7.1-8.4	9.7	1.4	3	820	
5	大分川下流	滝尾橋	B	ハ	7.5-7.9	9.3	0.5	3	500	
6	大分川下流	広瀬橋	B	ハ	7.8-7.9	9.2	0.8	4	87	
7	大分川下流	平田橋	B	ハ	7.5-8.1	10	0.6	1	520	
8	大分川中流	府内大橋	A	ロ	7.8-8.1	9.6	0.6	4	87	
9	大分川中流	明礮橋	A	ロ	7.8-8.0	9.4	0.7	5		
10	大分川中流	光吉	A	ロ	7.9-8.0	9.7	<0.5	4		
11	大野川下流	川添橋	A	ロ	7.4-7.8	9.3	1.0	3	280	
12	大野川下流	白滝橋	A	ロ	7.6-8.2	9.5	0.5	4	62	
13	大野川下流	八地蔵橋	A	ロ	7.8-8.0	10	0.7	2	350	
14	大野川上流	犬飼	A	イ	7.5-8.0	9.8	1.0	5	210	
15	大野川上流	福門大橋	A	イ	7.7-8.0	9.9	0.7	5	470	
16	大野川上流	吉四六大橋	A	イ	7.3-8.0	9.9	0.6	4	330	
17	乙津川	高田橋	A	イ	7.0-8.1	9.3	1.0	3	540	
環境基準					AA	6.5 以上 8.5 以下	7.5mg/L 以上	1mg/L 以下	25mg/L 以下	20CFU/ 100mL 以下
					A	6.5 以上 8.5 以下	7.5mg/L 以上	2mg/L 以下	25mg/L 以下	300CFU/ 100mL 以下
					B	6.5 以上 8.5 以下	5mg/L 以上	3mg/L 以下	25mg/L 以下	1,000CFU/ 100mL 以下
					C	6.5 以上 8.5 以下	5mg/L 以上	5mg/L 以下	50mg/L 以下	-
					D	6.0 以上 8.5 以下	2mg/L 以上	8mg/L 以下	100mg/L 以下	-
					E	6.0 以上 8.5 以下	2mg/L 以上	10mg/L 以下	ごみ等の 浮遊が認め られないこと	-

注 1) 表中の番号は図 4.1.2-3 に対応

注 2) 環境基準の達成期間の区分

イ：直ちに達成、ロ：5 年以内で可及的速やかに達成、ハ：5 年を超える期間で可及的速やかに達成

注 3) 75%値は、年間の日間平均値の全データを値の小さいものから順に並べ、0.75×n 番目（n はデータ数）の値。

注 4) 90%水質値（年間の日間平均値の全データをその値の小さいものから順に並べた際の 0.9×n 番目（n は日間平均値のデータ数）のデータ値（0.9×n が整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとる。)) とする（湖沼、海域もこれに準ずる。）

注 5) 環境基準の類型及び基準値等は表 4.1.2-4 に示すとおりである。

注 6) 網掛けは環境基準を超過している値を示す。

注 7) 「-」の項目は、測定されていない項目であることを示す。

出典：「大分県 HP / 令和 6 年度 公共用水域及び地下水の水質測定結果報告書」（令和 7 年 12 月現在、大分県生活環境部環境保全課）

「大分県 HP / 令和 6 年度 公共用水域及び地下水の水質測定結果報告書 水質測定結果総括表（公共用水域）」（令和 7 年 12 月現在、大分県生活環境部環境保全課）

表 4.1.2-4(2) 水質調査結果（生活環境項目（水生生物の保全に係る項目）令和6年度）

番号	水域名 (河川名)	地点名	類型	達成 期間	全亜鉛 (mg/L)	ノニル フェノール (mg/L)	直鎖アルキルベン ゼンスルホン酸及 びその塩 (LAS) (mg/L)
					平均	平均	平均
3	丹生川上流	丹生橋	生物 B	イ	0.006	<0.00006	<0.0006
4	尾田川	落合橋	生物 B	イ	0.010	<0.00006	0.0006
5	大分川下流	滝尾橋	生物 B	イ	0.001	-	-
7	大分川下流	平田橋	生物 B	イ	0.002	<0.00006	<0.0006
8	大分川中流	府内大橋	生物 B	イ	0.001	<0.00006	<0.0006
10	大分川中流	光吉	生物 B	イ	0.001	-	-
11	大野川下流	川添橋	生物 B	イ	0.003	<0.00006	<0.00006
12	大野川下流	白滝橋	生物 B	イ	0.001	<0.00006	<0.0006
13	大野川下流	八地藏橋	生物 B	イ	0.002	<0.00006	0.0006
環境基準			生物 A		0.03mg/L 以下	0.001mg/L 以下	0.03mg/L 以下
			生物特 A		0.03mg/L 以下	0.0006mg/L 以下	0.02mg/L 以下
			生物 B		0.03mg/L 以下	0.002mg/L 以下	0.05mg/L 以下
			生物特 B		0.03mg/L 以下	0.002mg/L 以下	0.04mg/L 以下

注1) 表中の番号は図 4.1.2-3 に対応

注2) 「<」は年間通して全検体で報告下限値未満。

注3) 「-」の項目は、測定されていない項目であることを示す。

出典：「大分県 HP / 令和6年度 公共用水域及び地下水の水質測定結果報告書」(令和7年12月現在、大分県生活環境部環境保全課)

「大分県 HP / 令和6年度 公共用水域及び地下水の水質測定結果報告書 水質測定結果総括表(公共用水域)」(令和7年12月現在、大分県生活環境部環境保全課)

人の健康の保護に関する項目（健康項目）

調査区域に存在する河川における、健康項目に係る令和6年度の水質調査結果は、表4.1.2-5に、調査地点位置は図4.1.2-3に示すとおりです。健康項目は8地点で調査が行われており、全ての調査地点で環境基準を達成しています。

表 4.1.2-5(1) 河川の水質調査結果（健康項目 令和6年度）

[単位：mg/L]

項目	番号	2	5	6	環境基準
	水域名（河川名） 地点名	丹生川下流 川田橋	大分川下流 滝尾橋	大分川下流 広瀬橋	
カドミウム		-	<0.0003	-	0.003 以下
全シアン		-	<0.1	-	検出されないこと
鉛		-	0.001	-	0.01 以下
六価クロム		-	<0.01	-	0.02 以下
砒素		-	0.002	-	0.01 以下
総水銀		-	<0.0005	-	0.0005 以下
アルキル水銀		-	-	-	検出されないこと
PCB		-	<0.0005	-	検出されないこと
ジクロロメタン		-	<0.002	-	0.02 以下
四塩化炭素		-	<0.0002	-	0.002 以下
1,2-ジクロロエタン		-	<0.0004	-	0.004 以下
1,1-ジクロロエチレン		-	<0.01	-	0.1 以下
シス-1,2-ジクロロエチレン		-	<0.002	-	0.04 以下
1,1,1-トリクロロエタン		-	<0.001	-	1 以下
1,1,2-トリクロロエタン		-	<0.0006	-	0.006 以下
トリクロロエチレン		-	<0.001	-	0.01 以下
テトラクロロエチレン		-	<0.001	-	0.01 以下
1,3-ジクロロプロペン		-	<0.0002	-	0.002 以下
チウラム		-	<0.0006	-	0.006 以下
シマジン		-	<0.0003	-	0.003 以下
チオベンカルブ		-	<0.002	-	0.02 以下
ベンゼン		-	<0.001	-	0.01 以下
セレン		-	<0.002	-	0.01 以下
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素		-	0.8	0.57	10 以下
ふっ素		0.17	-	-	0.8 以下
ほう素		-	-	-	1 以下
1,4-ジオキサン		-	<0.005	-	0.05 以下

注1) 表中の番号は図4.1.2-3に対応

注2) 基準値は年間平均値。ただし、全シアンに係る基準値については最高値である。

注3) 「<」は年間通して全検体で報告下限値未満。

注4) 「-」の項目は、測定されていない項目であることを示す。

出典：「大分県 HP / 令和6年度 公共用水域及び地下水の水質測定結果報告書」（令和7年12月現在、大分県生活環境部環境保全課）

「大分県 HP / 令和6年度 公共用水域及び地下水の水質測定結果報告書 水質測定結果総括表（公共用水域）」（令和7年12月現在、大分県生活環境部環境保全課）

表 4.1.2-5(2) 河川の水質調査結果 (健康項目 令和6年度)

[単位: mg/L]

項目	番号		12		環境基準
	8	11	大野川下流 白滝橋		
水域名(河川名) 地点名	大分川中流 府内大橋	大野川下流 川添橋			
カドミウム	<0.0003	<0.0003	<0.0003		0.003 以下
全シアン	<0.1	<0.1	<0.1		検出されないこと
鉛	<0.005	0.001	<0.005		0.01 以下
六価クロム	<0.01	<0.01	<0.01		0.02 以下
砒素	<0.005	0.001	<0.005		0.01 以下
総水銀	<0.0005	<0.0005	<0.0005		0.0005 以下
アルキル水銀	-	-	-		検出されないこと
PCB	<0.0005	<0.0005	<0.0005		検出されないこと
ジクロロメタン	<0.002	<0.002	<0.002		0.02 以下
四塩化炭素	<0.0002	<0.0002	<0.0002		0.002 以下
1,2-ジクロロエタン	<0.0004	<0.0004	<0.0004		0.004 以下
1,1-ジクロロエチレン	<0.01	<0.01	<0.01		0.1 以下
シス-1,2-ジクロロエチレン	<0.004	<0.002	<0.004		0.04 以下
1,1,1-トリクロロエタン	<0.1	<0.001	<0.1		1 以下
1,1,2-トリクロロエタン	<0.0006	<0.0006	<0.0006		0.006 以下
トリクロロエチレン	<0.001	<0.001	<0.001		0.01 以下
テトラクロロエチレン	<0.001	<0.001	<0.001		0.01 以下
1,3-ジクロロプロペン	<0.0002	<0.0002	<0.0002		0.002 以下
チウラム	<0.0006	<0.0006	<0.0006		0.006 以下
シマジン	<0.0003	<0.0003	<0.0003		0.003 以下
チオベンカルブ	<0.002	<0.002	<0.002		0.02 以下
ベンゼン	<0.001	<0.001	<0.001		0.01 以下
セレン	<0.002	<0.002	<0.002		0.01 以下
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	0.49	0.6	0.86		10 以下
ふっ素	<0.08	-	0.08		0.8 以下
ほう素	0.1	-	<0.1		1 以下
1,4-ジオキサン	<0.005	<0.005	<0.005		0.05 以下

注1) 表中の番号は図 4.1.2-3 に対応

注2) 基準値は年間平均値。ただし、全シアンに係る基準値については最高値である。

注3) 「<」は年間通して全検体で報告下限値未滿。

注4) 「-」の項目は、測定されていない項目であることを示す。

出典: 「大分県 HP / 令和6年度 公共用水域及び地下水の水質測定結果報告書」(令和7年12月現在、大分県生活環境部環境保全課)

「大分県 HP / 令和6年度 公共用水域及び地下水の水質測定結果報告書 水質測定結果総括表(公共用水域)」(令和7年12月現在、大分県生活環境部環境保全課)

表 4.1.2-5(3) 河川の水質調査結果 (健康項目 令和6年度)

[単位: mg/L]

番号	16	17	環境基準
水域名(河川名) 地点名	大野川上流 吉四六大橋	乙津川 高田橋	
項目			
カドミウム	<0.0003	-	0.003 以下
全シアン	<0.1	-	検出されないこと
鉛	<0.005	-	0.01 以下
六価クロム	<0.01	-	0.02 以下
砒素	<0.001	-	0.01 以下
総水銀	<0.0005	-	0.0005 以下
アルキル水銀	-	-	検出されないこと
PCB	<0.0005	-	検出されないこと
ジクロロメタン	<0.002	-	0.02 以下
四塩化炭素	<0.0002	-	0.002 以下
1,2-ジクロロエタン	<0.0004	-	0.004 以下
1,1-ジクロロエチレン	<0.002	-	0.1 以下
シス-1,2-ジクロロエチレン	<0.002	-	0.04 以下
1,1,1-トリクロロエタン	<0.0005	-	1 以下
1,1,2-トリクロロエタン	<0.0006	-	0.006 以下
トリクロロエチレン	<0.001	-	0.01 以下
テトラクロロエチレン	<0.0005	-	0.01 以下
1,3-ジクロロプロペン	<0.0002	-	0.002 以下
チウラム	<0.0006	-	0.006 以下
シマジン	<0.0003	-	0.003 以下
チオベンカルブ	<0.002	-	0.02 以下
ベンゼン	<0.001	-	0.01 以下
セレン	<0.001	-	0.01 以下
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	0.68	-	10 以下
ふっ素	0.09	0.73	0.8 以下
ほう素	<0.1	-	1 以下
1,4-ジオキサン	<0.005	-	0.05 以下

注1) 表中の番号は図 4.1.2-3 に対応

注2) 基準値は年間平均値。ただし、全シアンに係る基準値については最高値である。

注3) 「<」は年間通して全検体で報告下限値未滿。

注4) 「-」の項目は、測定されていない項目であることを示す。

出典: 「大分県 HP / 令和6年度 公共用水域及び地下水の水質測定結果報告書」(令和7年12月現在、大分県生活環境部環境保全課)

「大分県 HP / 令和6年度 公共用水域及び地下水の水質測定結果報告書 水質測定結果総括表(公共用水域)」(令和7年12月現在、大分県生活環境部環境保全課)

ダイオキシン類

調査区域に存在する河川の水質における、ダイオキシン類の令和5年度～令和6年度の調査結果は表4.1.2-6に、調査地点位置は図4.1.2-3に示すとおりです。

ダイオキシン類は5地点で調査が行われており、全ての調査地点で環境基準を達成しています。

表 4.1.2-6 河川の水質におけるダイオキシン類の調査結果（令和5年度～令和6年度）

番号	河川名	調査地点	ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)	環境基準値	環境基準の達成状況 (達成・非達成×)	調査年度
5	大分川	滝尾橋	0.070	1.0 pg- TEQ/L 以下		令和6年度
8	大分川	府内大橋	0.076			令和6年度
11	大野川	川添橋	0.064			令和6年度
12	大野川	白滝橋	0.073			令和6年度
16	野津川	吉四六大橋	0.046			令和5年度

注) 表中の番号は図4.1.2-3に対応

出典: 「大分県HP/令和5年度 公共用水域及び地下水の水質測定結果報告書」(令和7年12月現在、大分県生活環境部環境保全課)

「大分県HP/令和6年度 公共用水域及び地下水の水質測定結果報告書」(令和7年12月現在、大分県生活環境部環境保全課)

(2)湖沼の水質の状況

調査区域において、屋山池、赤迫池、末広ダム等、農業用水や生活用水としての利用のための溜池やダム湖がありますが、水質に係る調査は実施されていません。

(3)海域の水質の状況

調査区域には海域はありません。

3)水底の底質の状況

調査区域に存在する河川の水底の底質における、ダイオキシン類の令和4年度～令和6年度の調査結果は表4.1.2-7に、調査地点位置は図4.1.2-3に示すとおりです。

河川の水底の底質におけるダイオキシン類は5地点で調査が行われており、全ての調査地点で環境基準を達成しています。

表 4.1.2-7 河川の水底の底質におけるダイオキシン類の調査結果（令和4年度～令和6年度）

番号	河川名	調査地点	ダイオキシン類 (pg-TEQ/g)	環境基準値	環境基準の達成状況 (達成・非達成×)	調査年度
5	大分川	滝尾橋	1.5	150 pg- TEQ/g 以下		令和4年度
8	大分川	府内大橋	0.24			令和6年度
11	大野川	川添橋	1.1			令和6年度
12	大野川	白滝橋	0.22			令和6年度
16	野津川	吉四六大橋	0.57			令和5年度

注) 表中の番号は図4.1.2-3に対応

出典: 「大分県 HP / 令和4年度 公共用水域及び地下水の水質測定結果報告書」(令和7年12月現在、大分県生活環境部環境保全課)

「大分県 HP / 令和5年度 公共用水域及び地下水の水質測定結果報告書」(令和7年12月現在、大分県生活環境部環境保全課)

「大分県 HP / 令和6年度 公共用水域及び地下水の水質測定結果報告書」(令和7年12月現在、大分県生活環境部環境保全課)

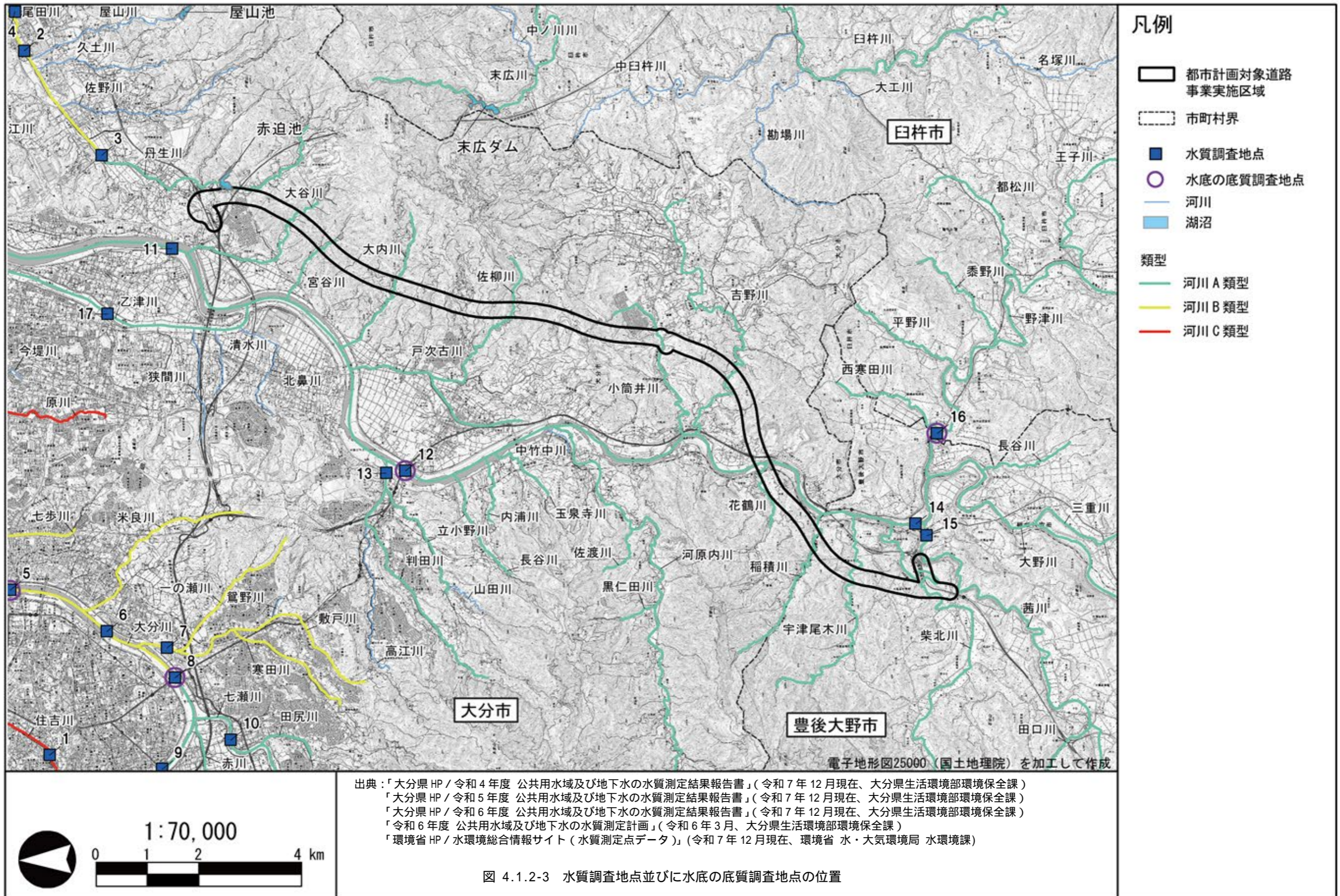


図 4.1.2-3 水質調査地点並びに水底の底質調査地点の位置